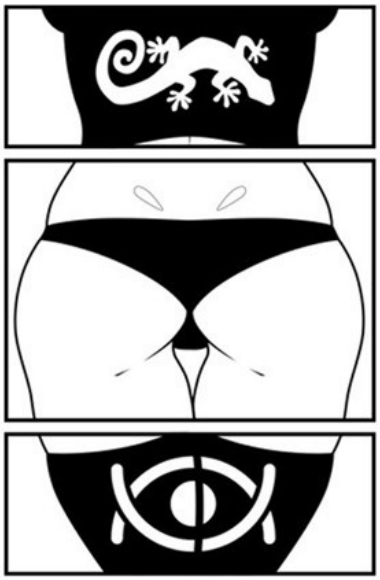

SLAVE
奴隷特工隊
スレイブエージェント
ノーマルミッション
常規任务
03
性奴隶





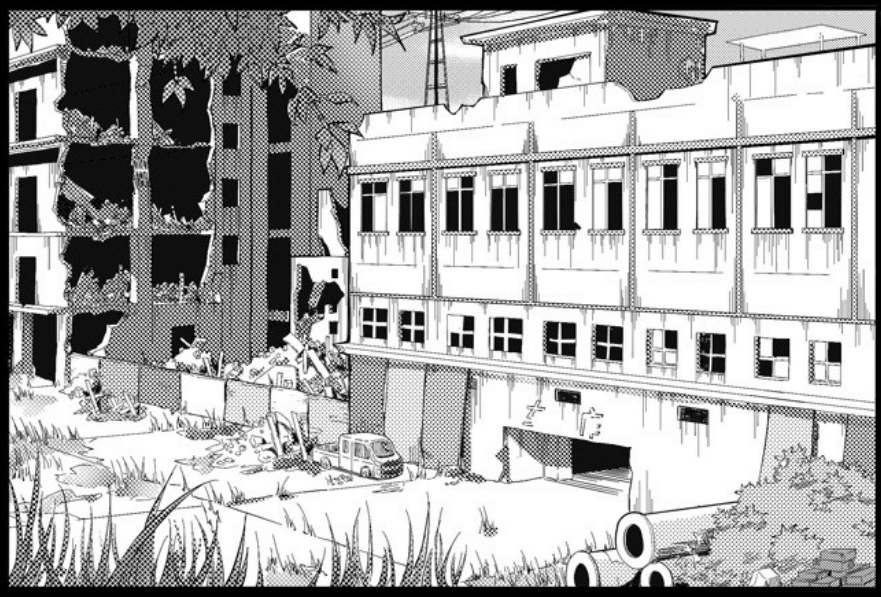
蜥臀目

2022 03


まさかこんな辺鄙な所でアロサウジアの将軍様に出くわすとはな。
将軍様と互角に戦ってるぞ、あの傭兵が！
こらあほ！観戦してないで早くテロ組織の残党捕まえに行くぞ。

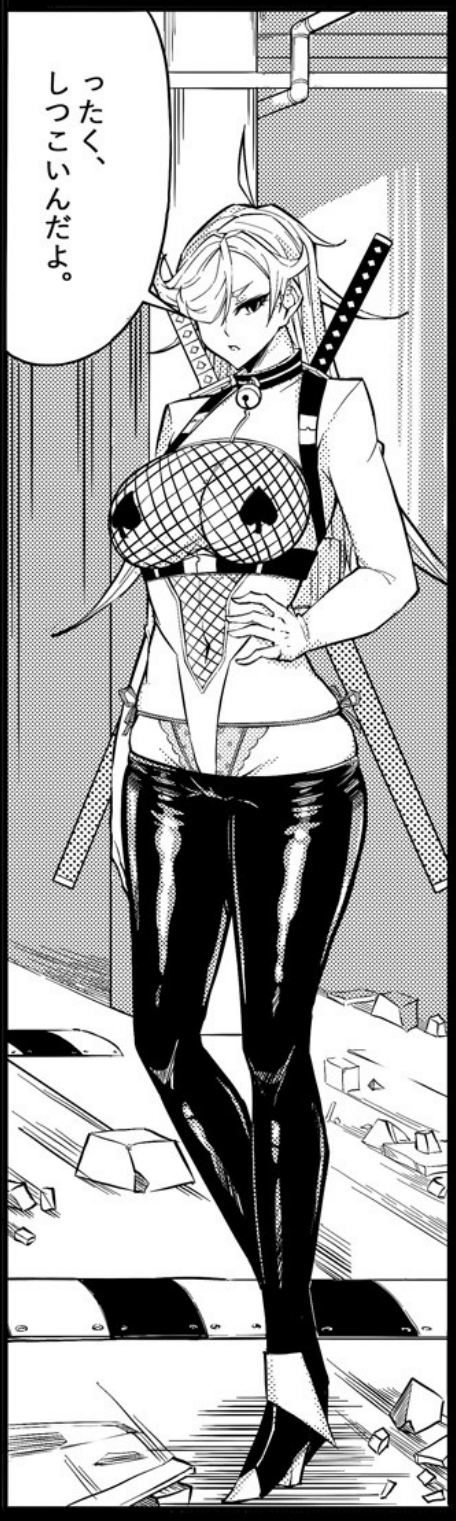

公務で丁度近くに居てな。
騒動を聞きつけて来てみれば……
元レックストゥス公国ロイヤルオペレーターとなったら見過ごせんな。
ふーん、ご苦労なこった。
ああ、紛争中だがここは我が国の領土に変わりない。
テロ勢力や「外国の傭兵」の好き勝手にはさせんぞ？
そう興奮すんな。ここでのあたしの役目はもう無いから、大人しく去るさ。
じゃあな。


ゴールデンフォックス!!




？


今度こそ我々「ブラックデザート」に入って貰うぞ？


ったく、しつこいんだよ。


君の能力にわしは高く買っているんでね、
総帥にも既に話は通しておる
我々の大いなる発展に、君の力が必要なんだ

どの勢力にも属しないって言ったはずだ。

ましてはお前らのような、な？

なっ!?

どういう意味だ貴様ぁ！

我々を愚弄する気か!?

ふん、てめーみたいなのが軍団長と来た。

そんな組織のクソ加減も想像がつくさ。

！

何だと

クソアマ…

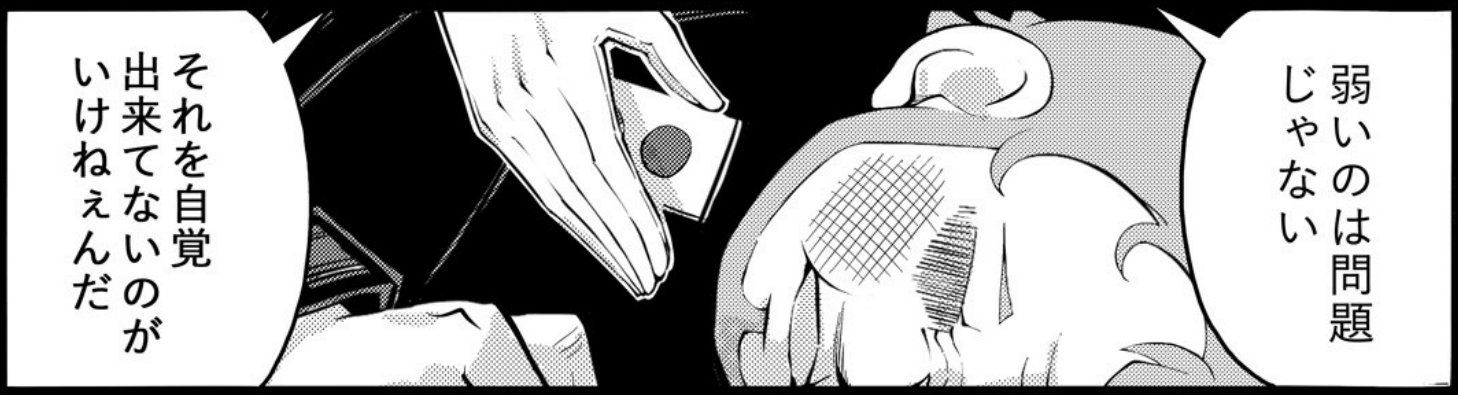
傭兵の分際で高を括りやがって、何様のつもりだぁ？


ふざけるなぁ!!
ブオォ
はぁ～
ビュッ
パン

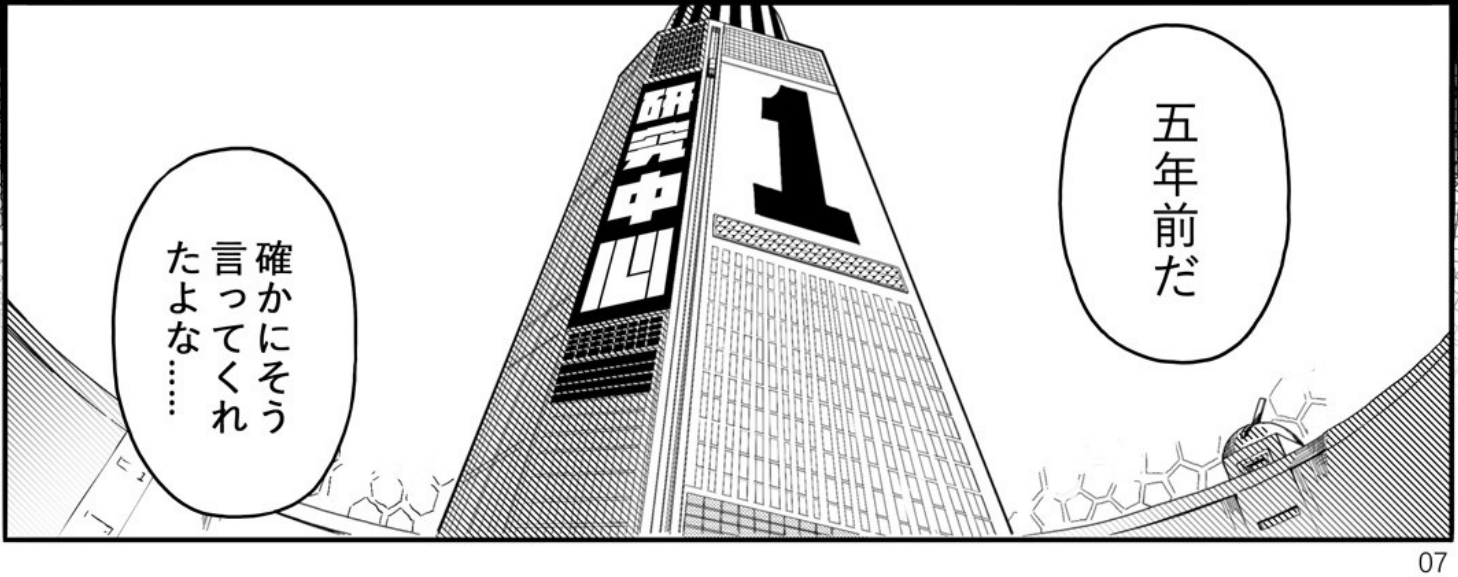

ガッ
ズバ

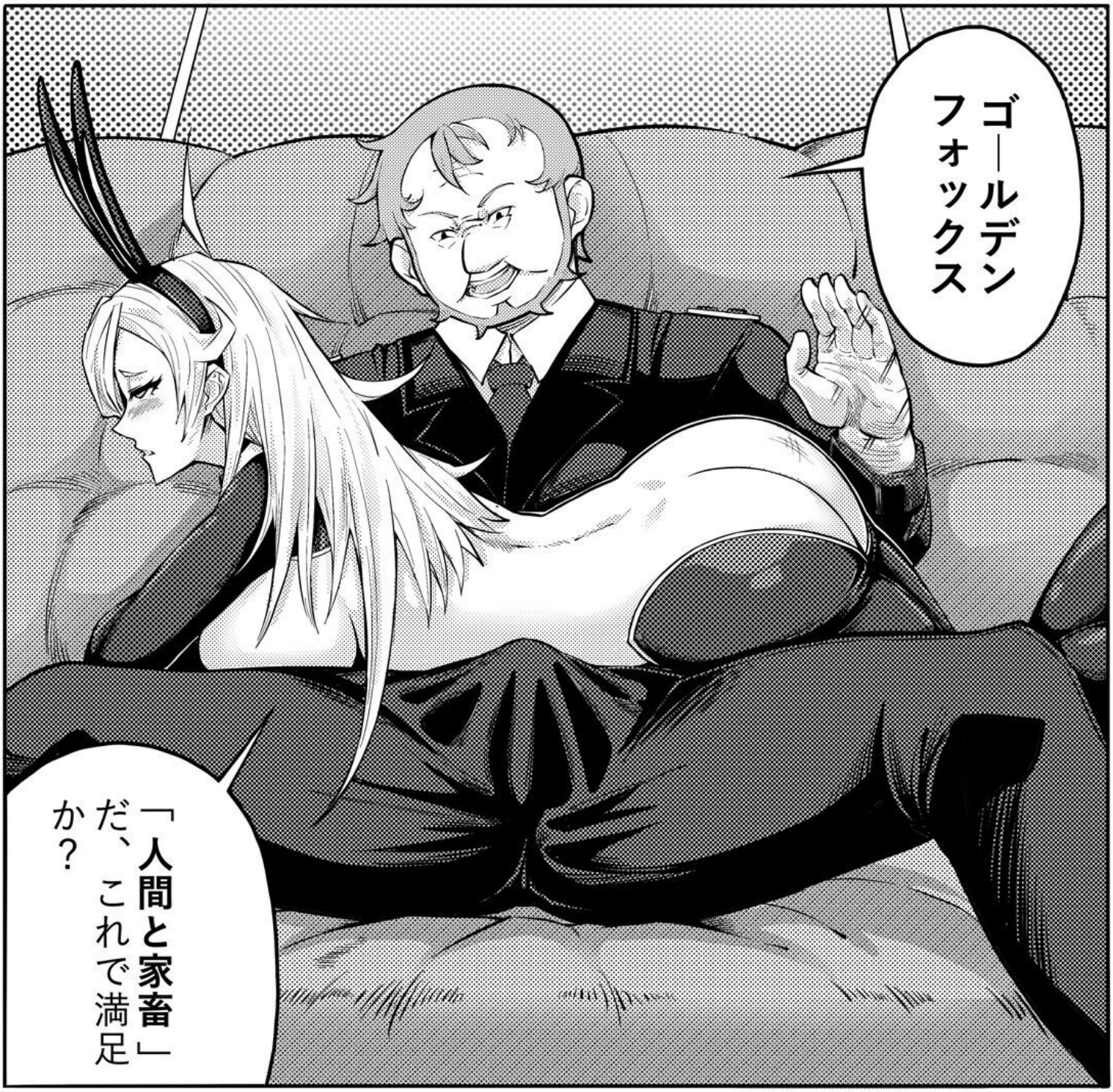


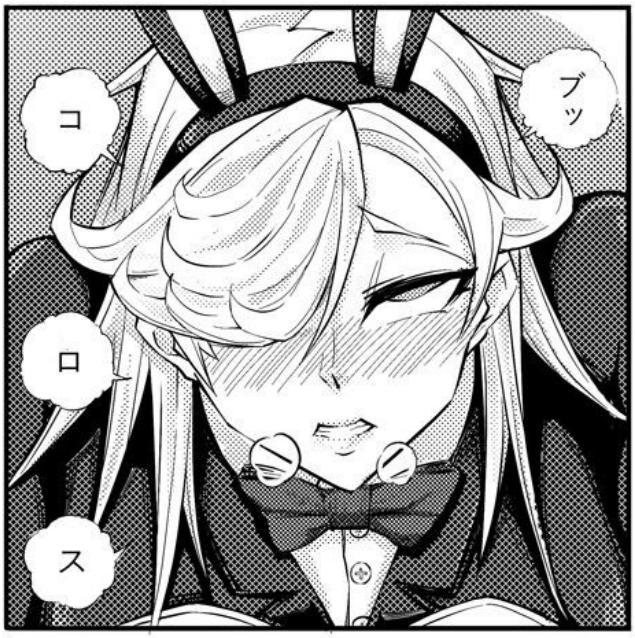

軍団長！

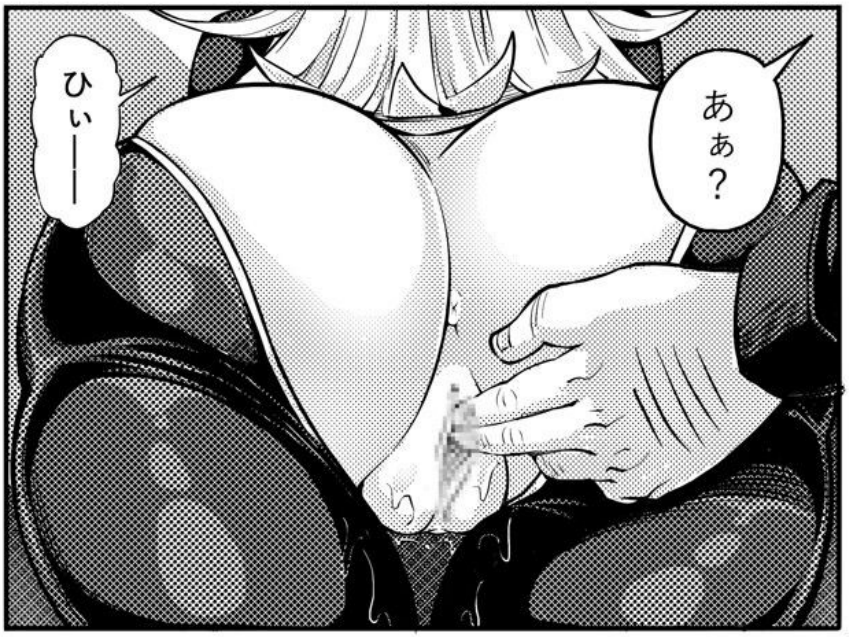

弱いのは問題じゃない
それを自覚出来てないのがいけねぇんだ


人間と家畜だ、あたしとお前の差は
人間様の前で豚野郎がどう弁えるべきか、ちゃんと考えとくんだな

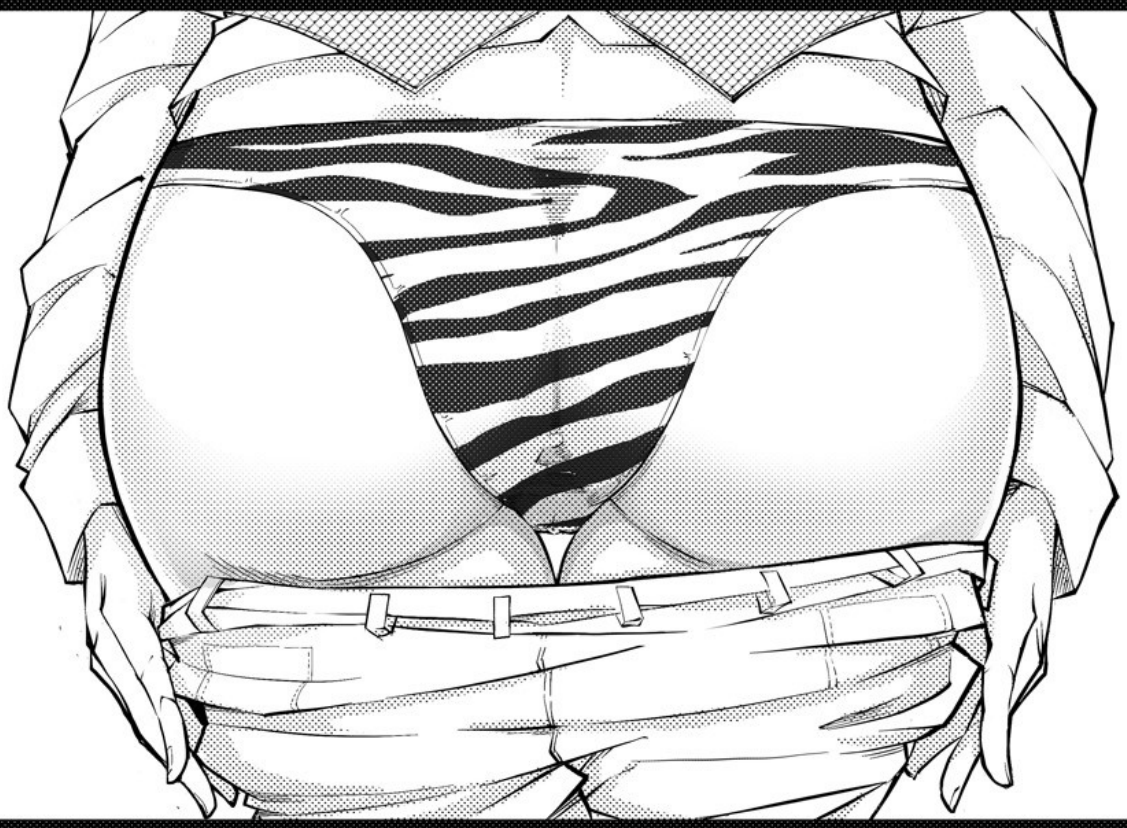

研究中心
1
五年前だ
確かにそう言ってくれたよな……


ゴールデンフォックス
「人間と家畜」だ、これで満足か？


ブッ
コ
ロ
ス

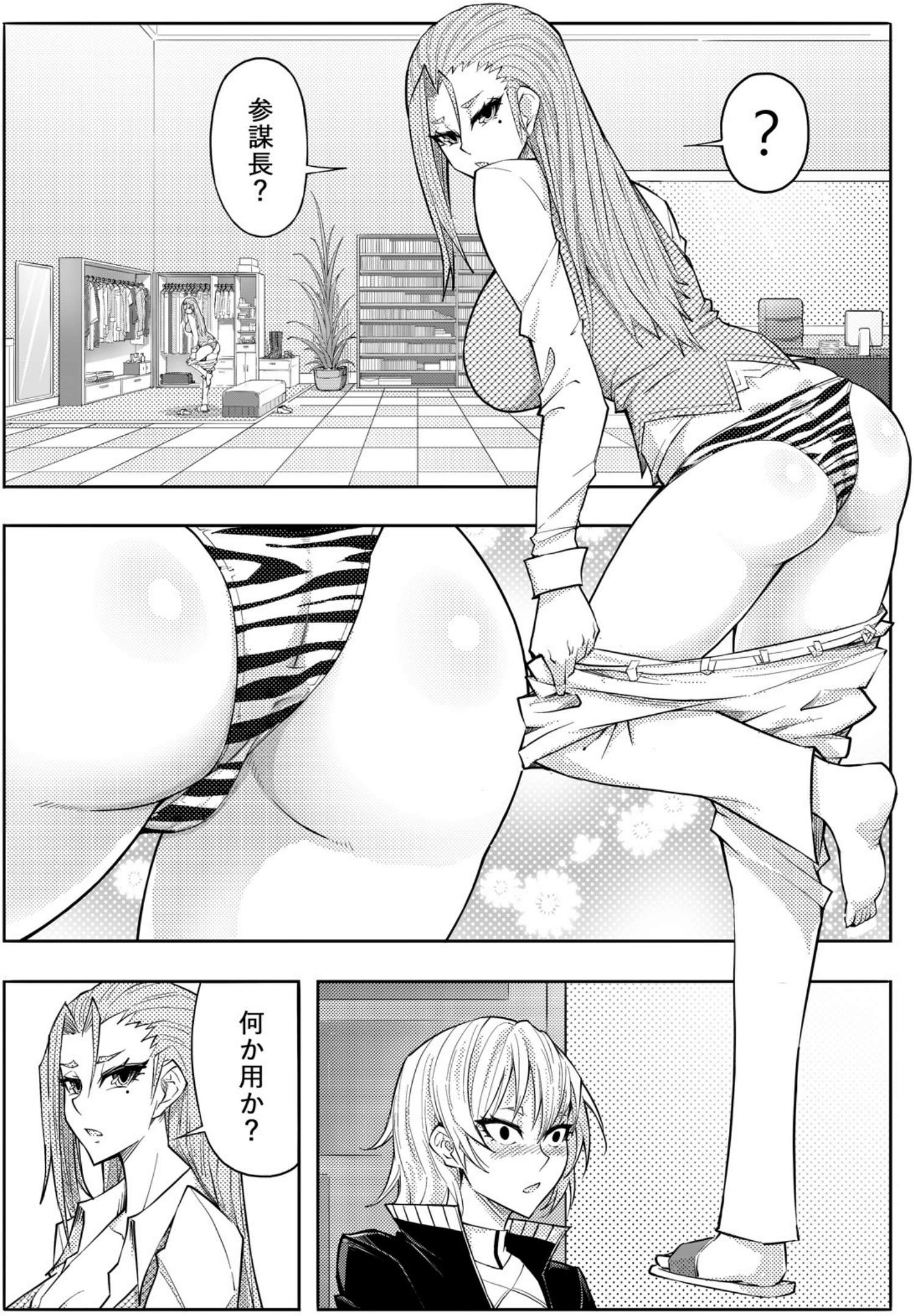

あぁ？
ひぃ――

SKIN 03

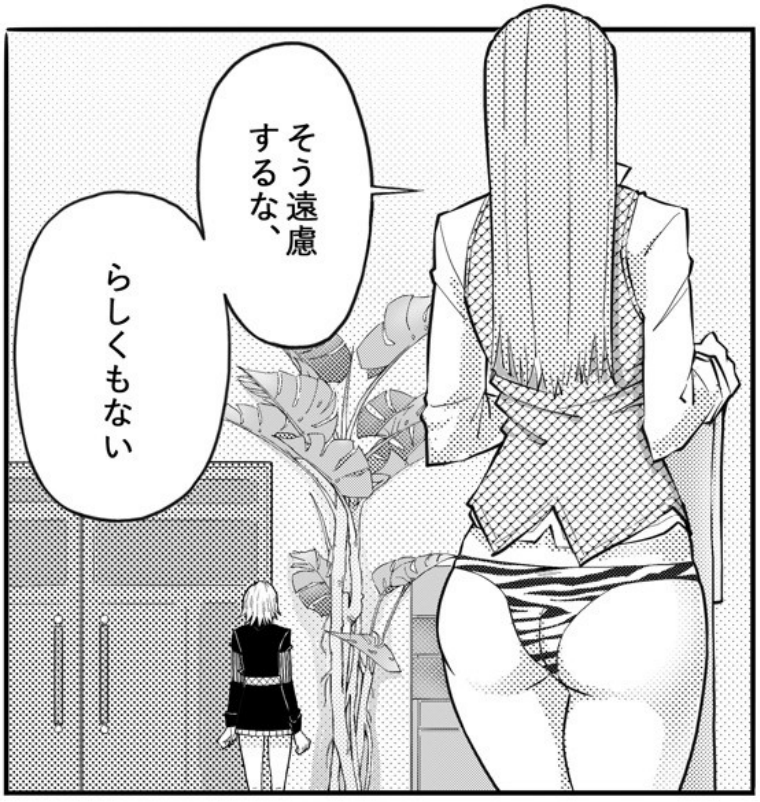


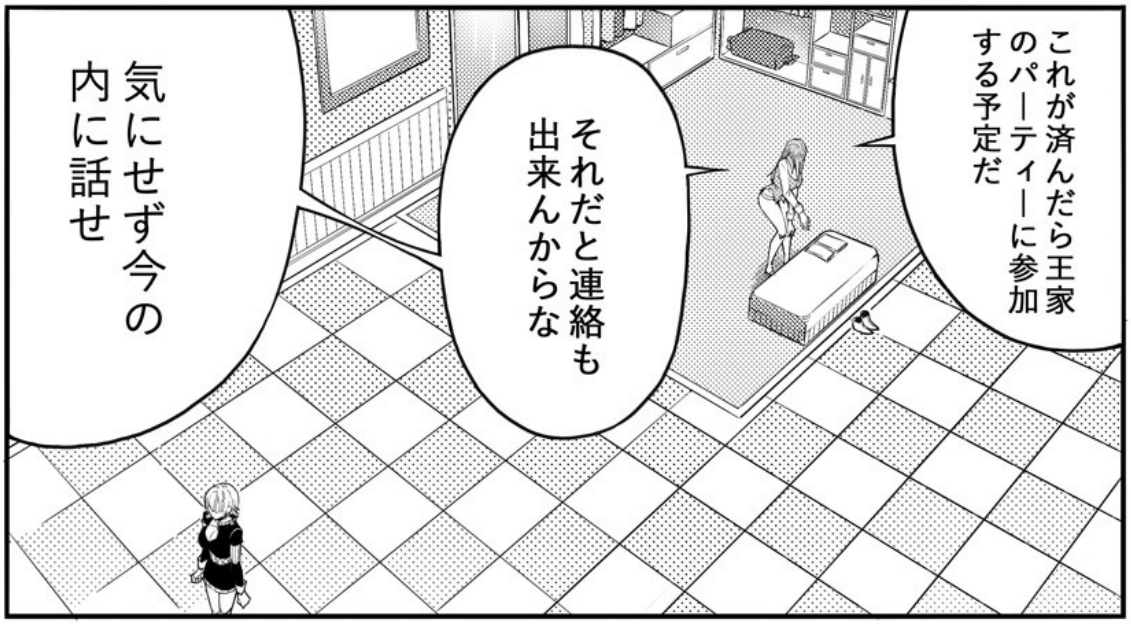
SEX SLAVES


21時間前　アロサウジア王国将軍府
参謀長様！
将軍様のオフィスは今立入厳禁で…
急用だ！今すぐ将軍殿に聞かなければ！
ですがっ！
将軍様は今…
うるさい！
余計な口を挟むな！
バン
将軍殿！


？
参謀長？
何か用か？

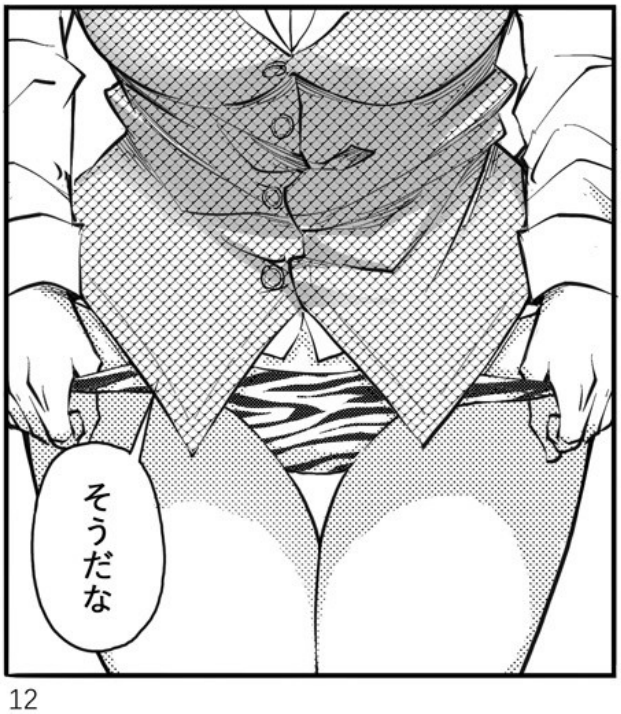

た、大変失礼しました！
まさか更衣中とも知らずに……また出直します！

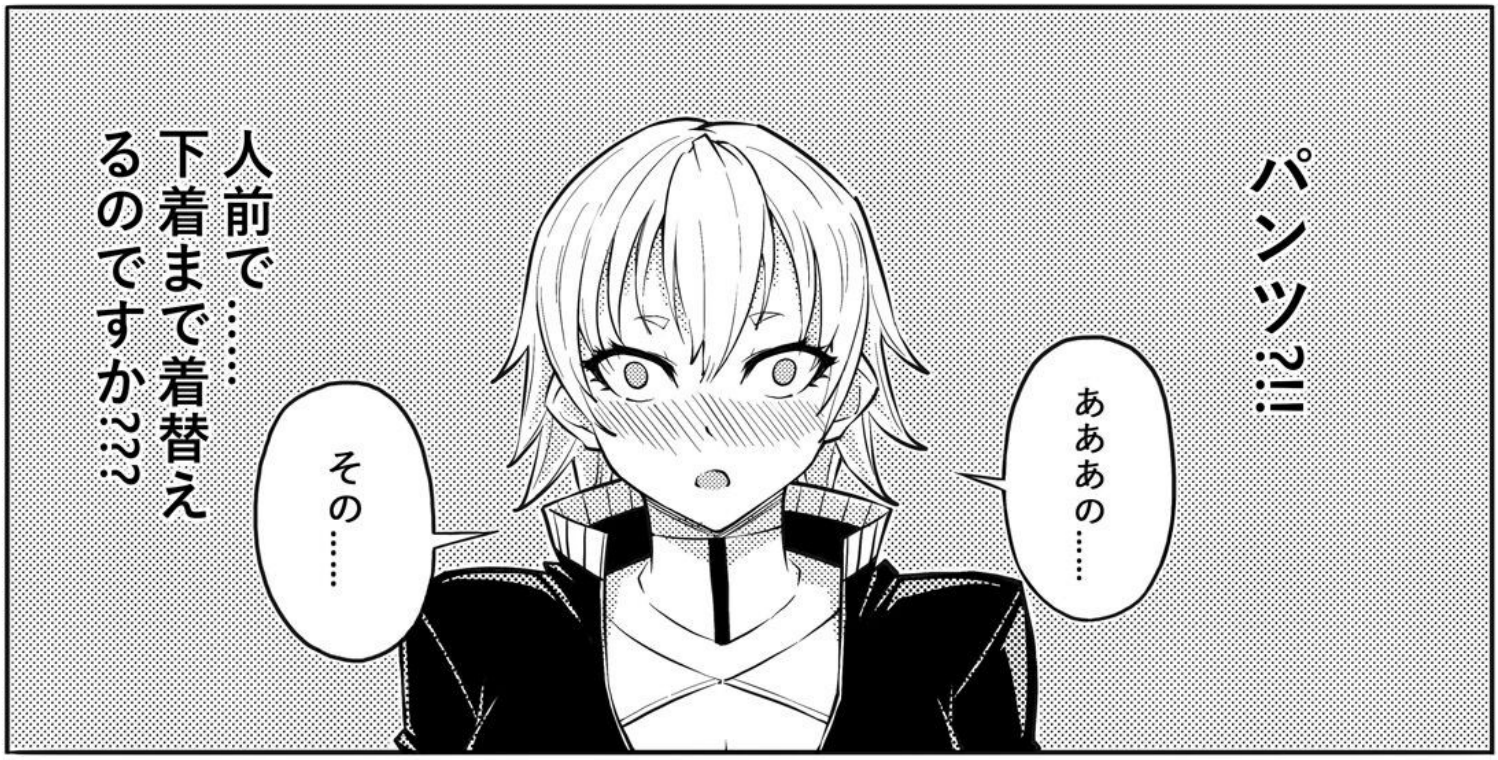

そう遠慮するな、
らしくもない


これが済んだら王家のパーティーに参加する予定だ
それだと連絡も出来んからな
気にせず今の内に話せ


……

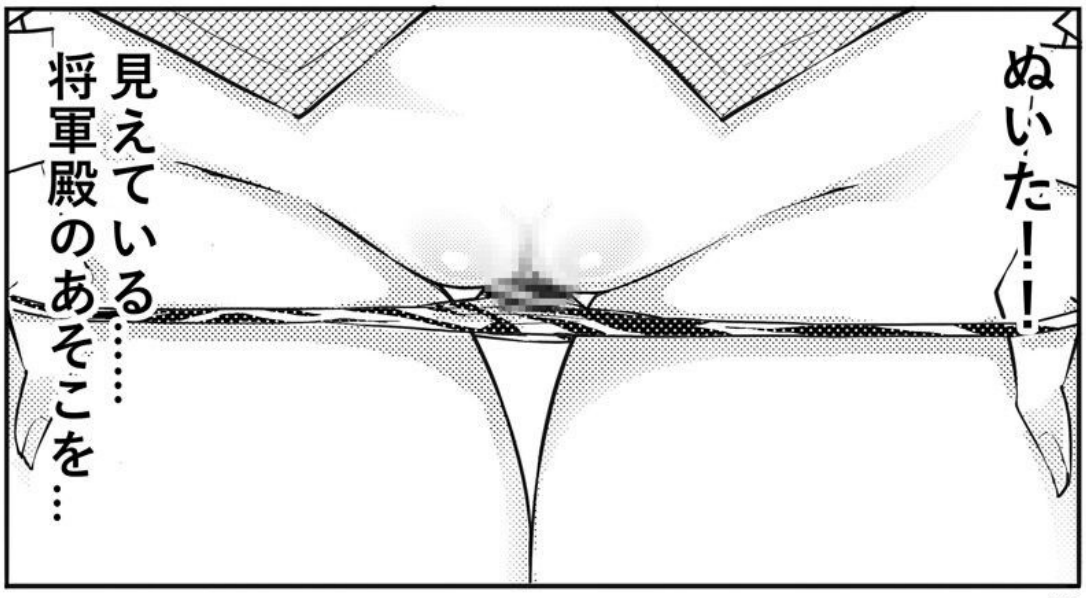

では…
五年前、
将軍殿はあのシックスと対峙してました

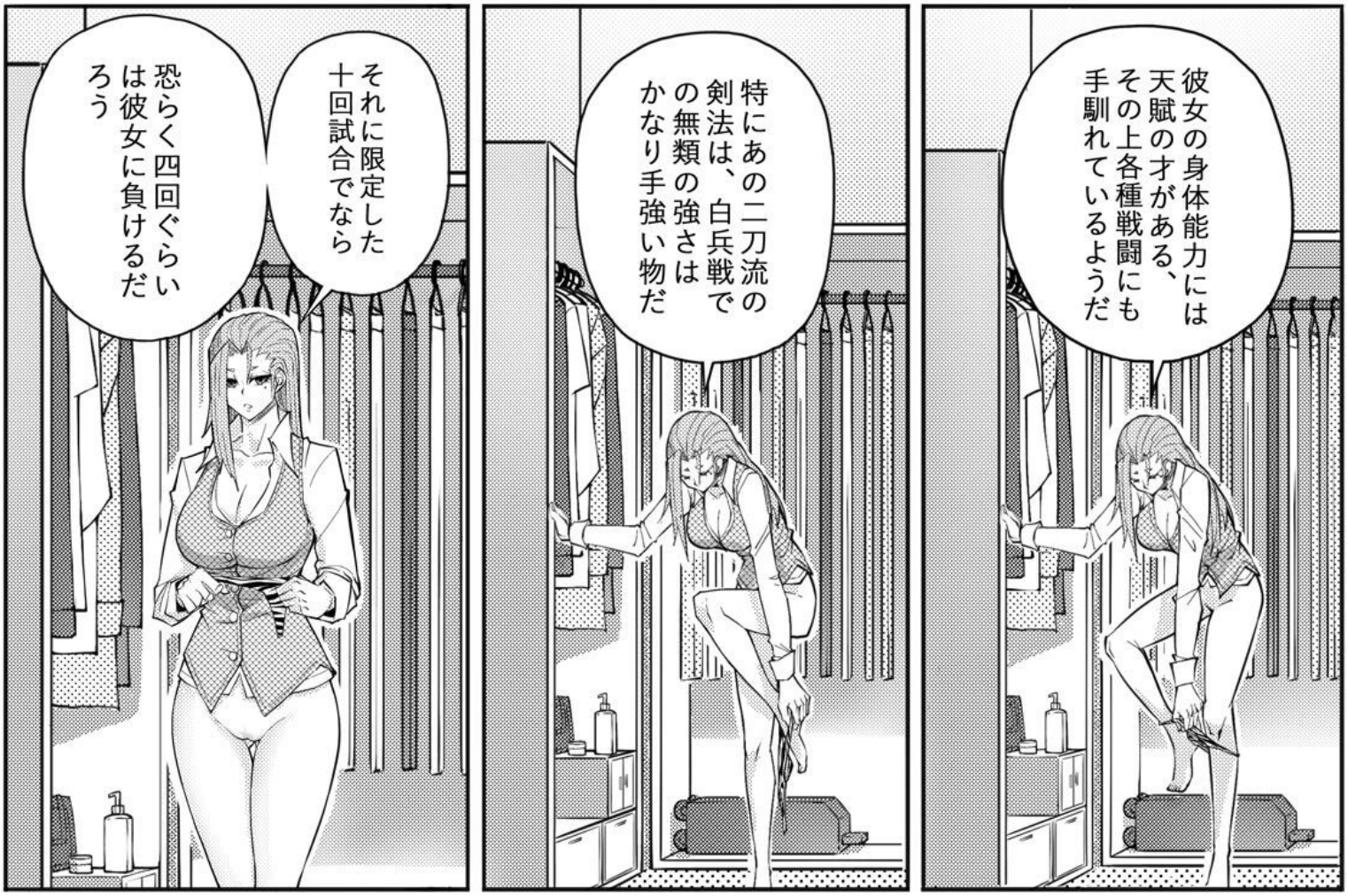

そうだな

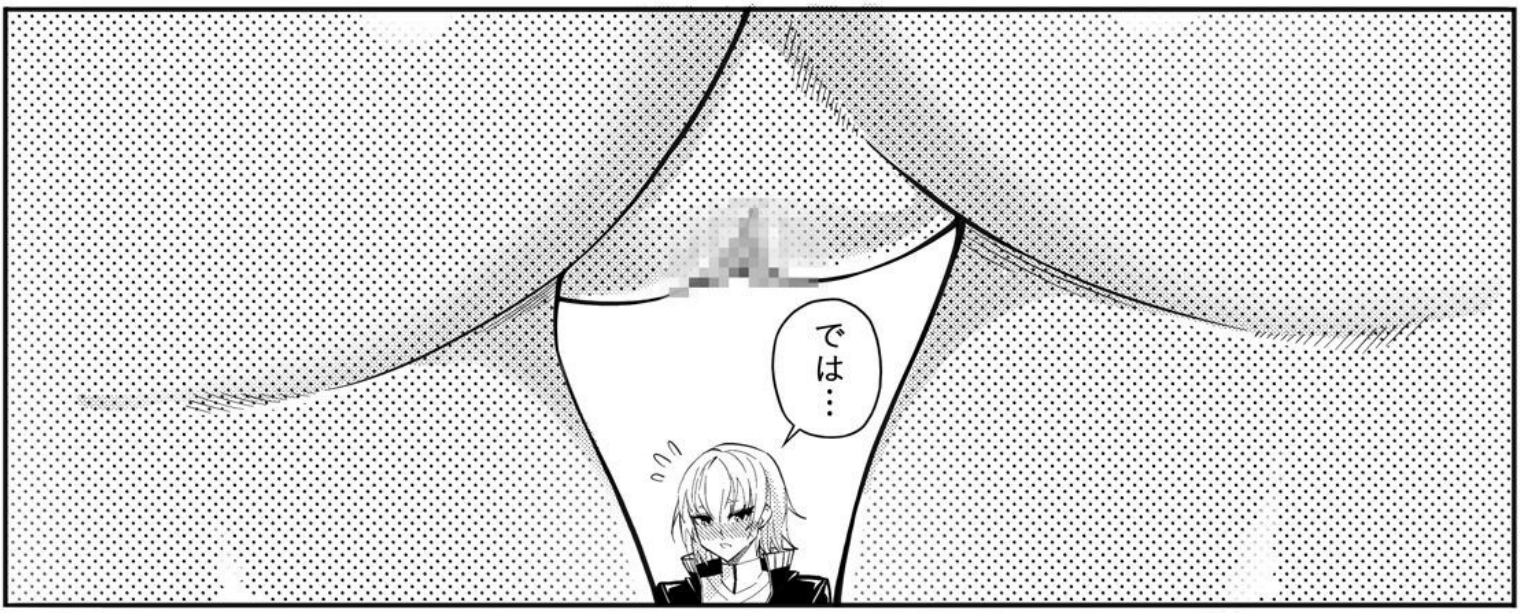

パンツ?!!
ああああの……
その……
人前で……
下着まで着替えるのですか?!?!


シックスと将軍の実力差は……


ああ、実は
あれ以外にも幾度も手合わせした事がある

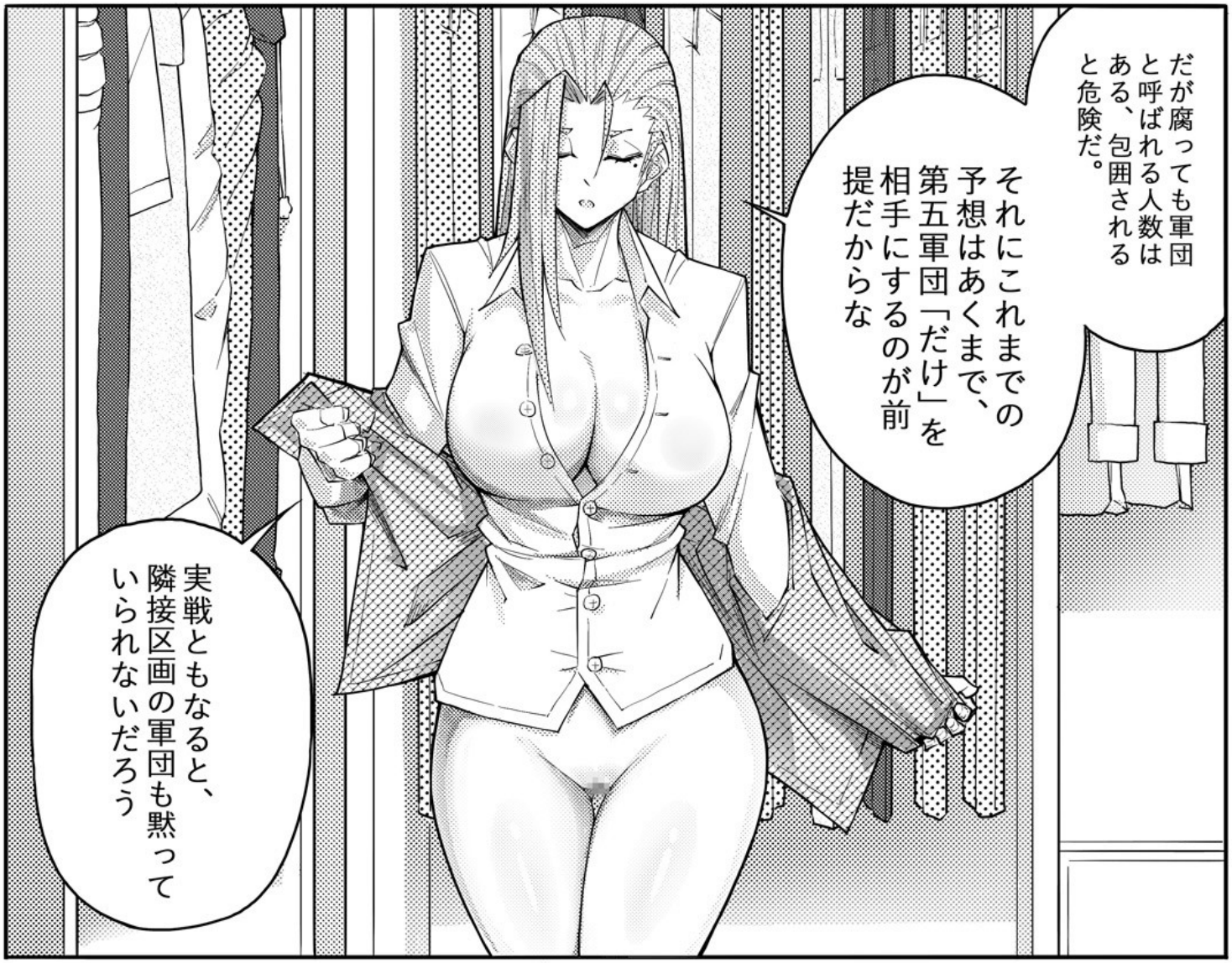

ぬいた!!!
見えている……将軍殿のあそこを…


彼女の身体能力には天賦の才がある、その上各種戦闘にも手馴れているようだ
特にあの二刀流の剣法は、白兵戦での無類の強さはかなり手強い物だ
それに限定した十回試合でなら
恐らく四回ぐらいは彼女に負けるだろう


では…


将軍殿なら、
「ブラックデザート」の第五軍団を単騎で突破出来ますか？


ふむ。第五軍団の区画は主に後方支援や補給、そして戦略優先度の低い研究をしている施設で構成されている
兵力では比較的弱い区画ではあるな。
そのに配給されているスーパーソルジャーも武器も一線級とは行かない型落ちした物だ。
C
K
T
その指揮官や幹部も、優秀とは言えない者ばかり。
運が向いていれば、単騎での突破も出来よう。


だが腐っても軍団と呼ばれる人数はある、包囲されると危険だ。
それにこれまでの予想はあくまで、第五軍団「だけ」を相手にするのが前提だからな
実戦ともなると、隣接区画の軍団も黙っていられないだろう


「**アロサウジア最強の男**」とも噂されている第十軍団の軍団長
彼と部下のスーパーソルジャー精鋭部隊は強敵だ
乾
10


それと、
第八軍団の機動部隊「**姫式（ひめしき）**」も侮れん。
我々が今でも「ブラックデザート」を徹底的に対処出来ないのも、奴らにはこの二つの力があるからな

でしたら……！

ますます分かりませんよ！

なぜこれほどなミッションで、SKINにそんなに過度な期待を持っているのです？

彼女たちが中央区に潜入し、ファイルを奪って無事脱出できるとは到底思えません。

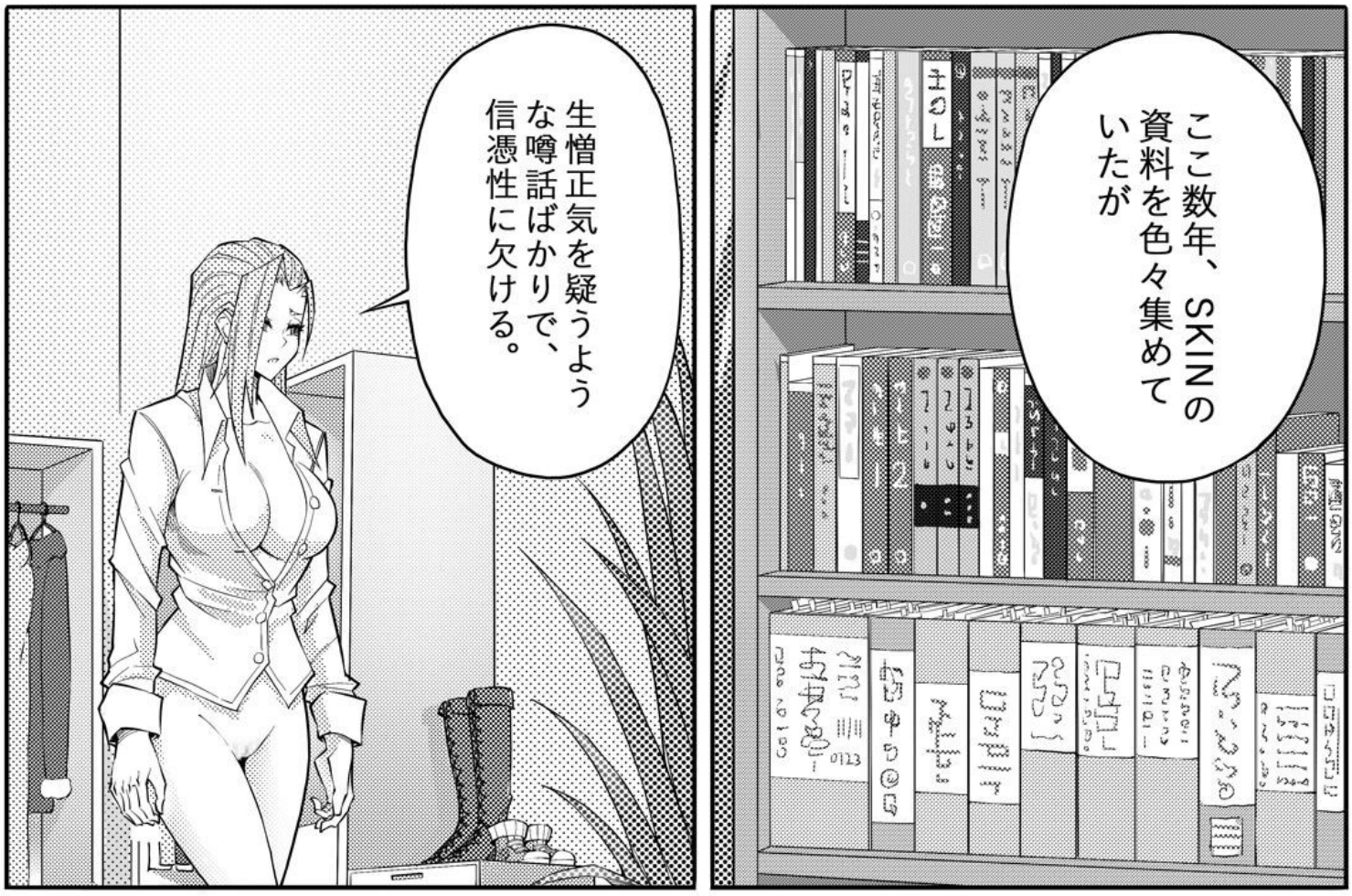
やはりそう思っていたか。

参謀長の言う通り、今の彼女らに中央区への潜入は期待出来ないが……

？

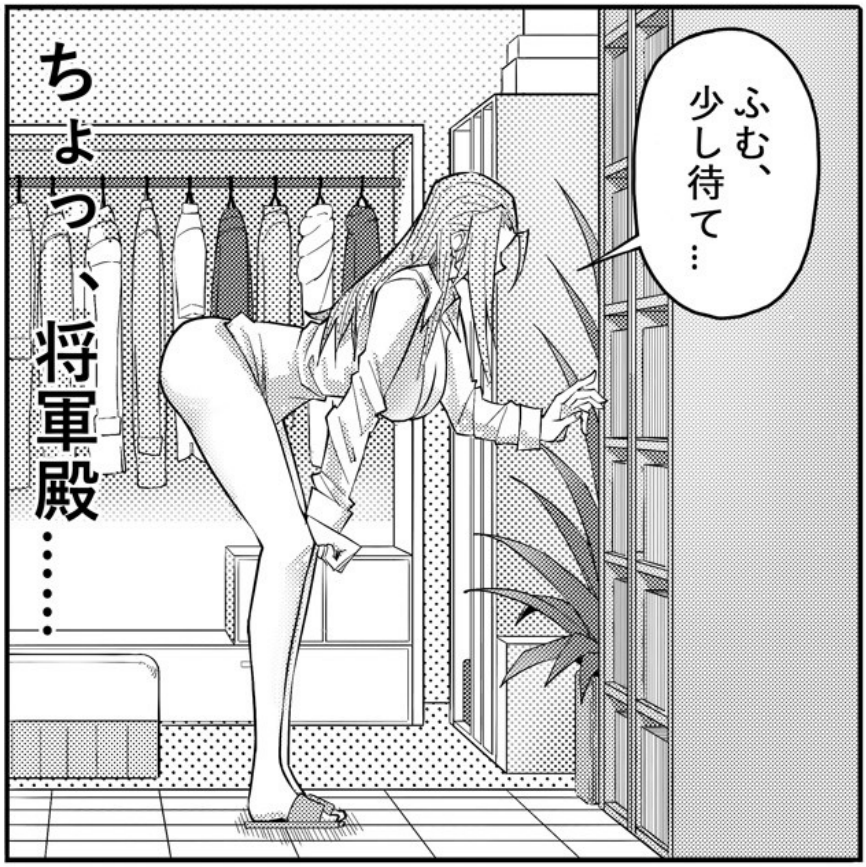
彼女らのミッションはまだ失敗した訳ではない。

ミッション期間が満了してない上、詳細な状況を掴めた訳ではない。


ここ数年、SKINの資料を色々集めていたが
生憎正気を疑うような噂話ばかりで、信憑性に欠ける。


だから君達には完全な情報を伝えられずにいた。
参謀長が疑問を抱くのも当然だ、謝罪しよう。
だが、ここにある残りの資料を見れば、私の判断にもそれなり同意出来るようになる筈だ。

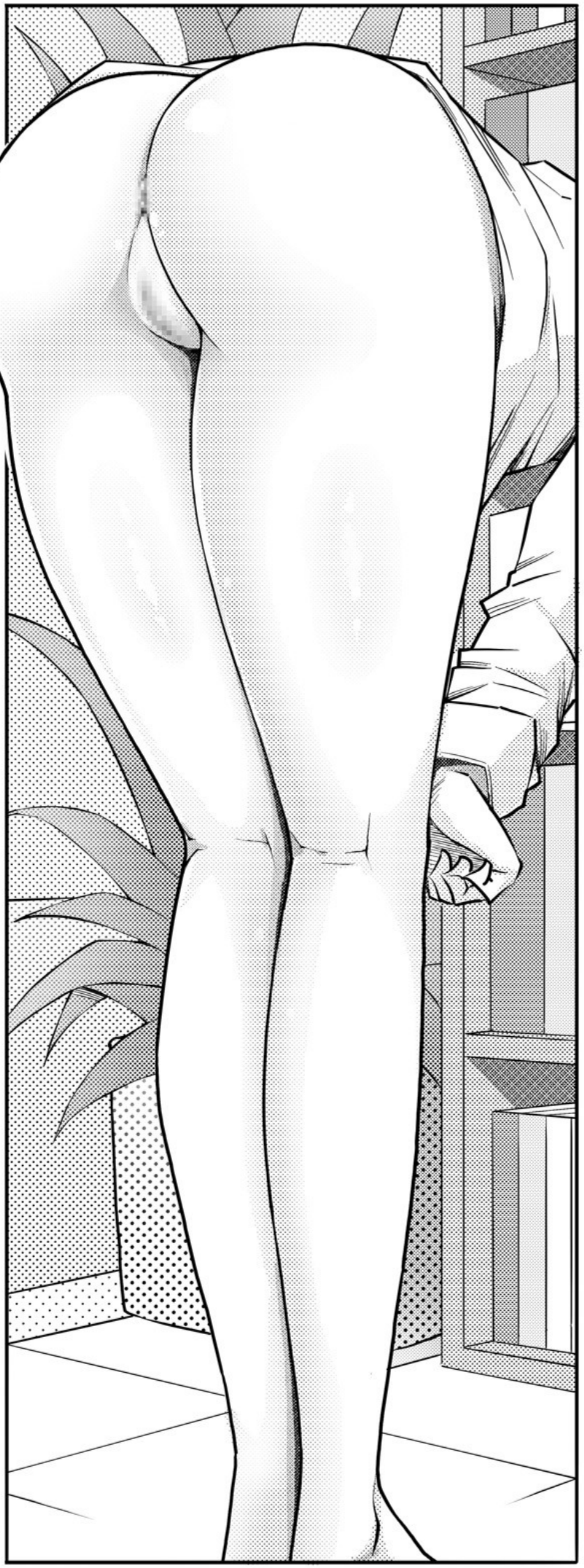

その姿勢……

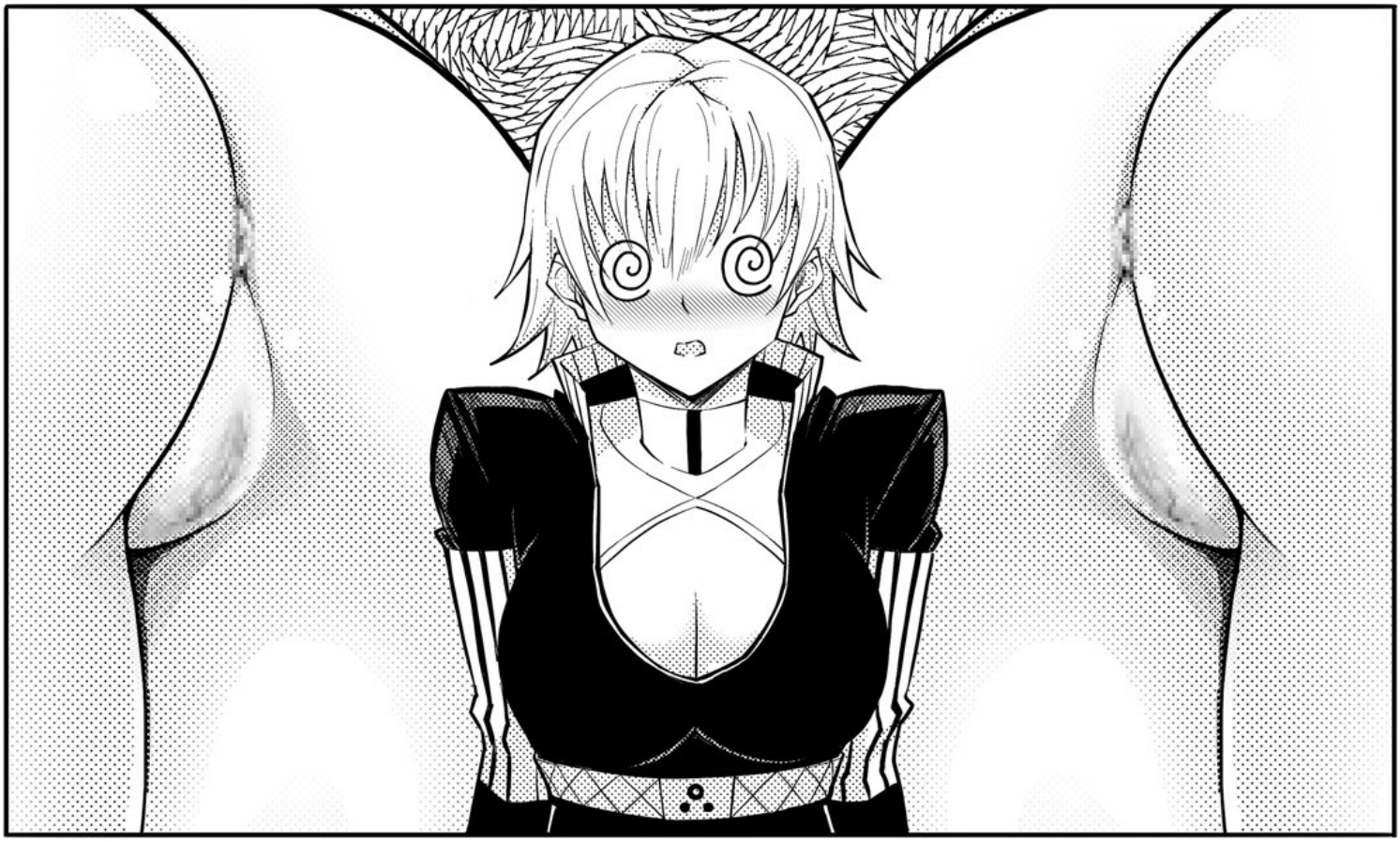

ふむ、
少し待て…
ちょっ、将軍殿……


ヤバイってえええ!!

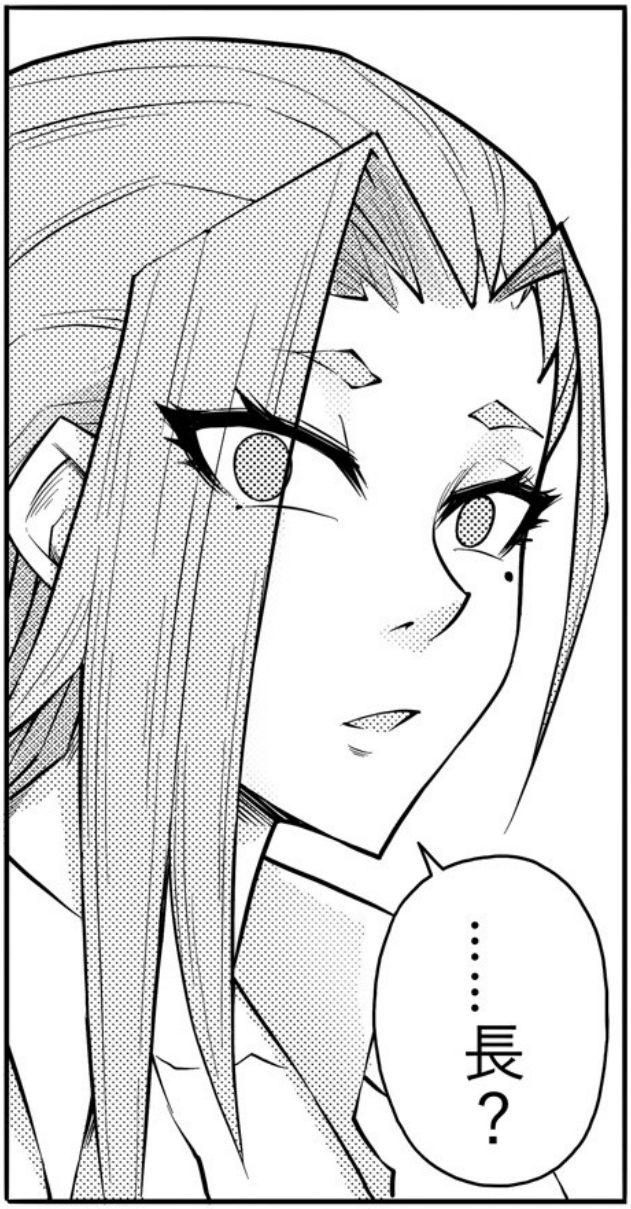

しょ、将軍……





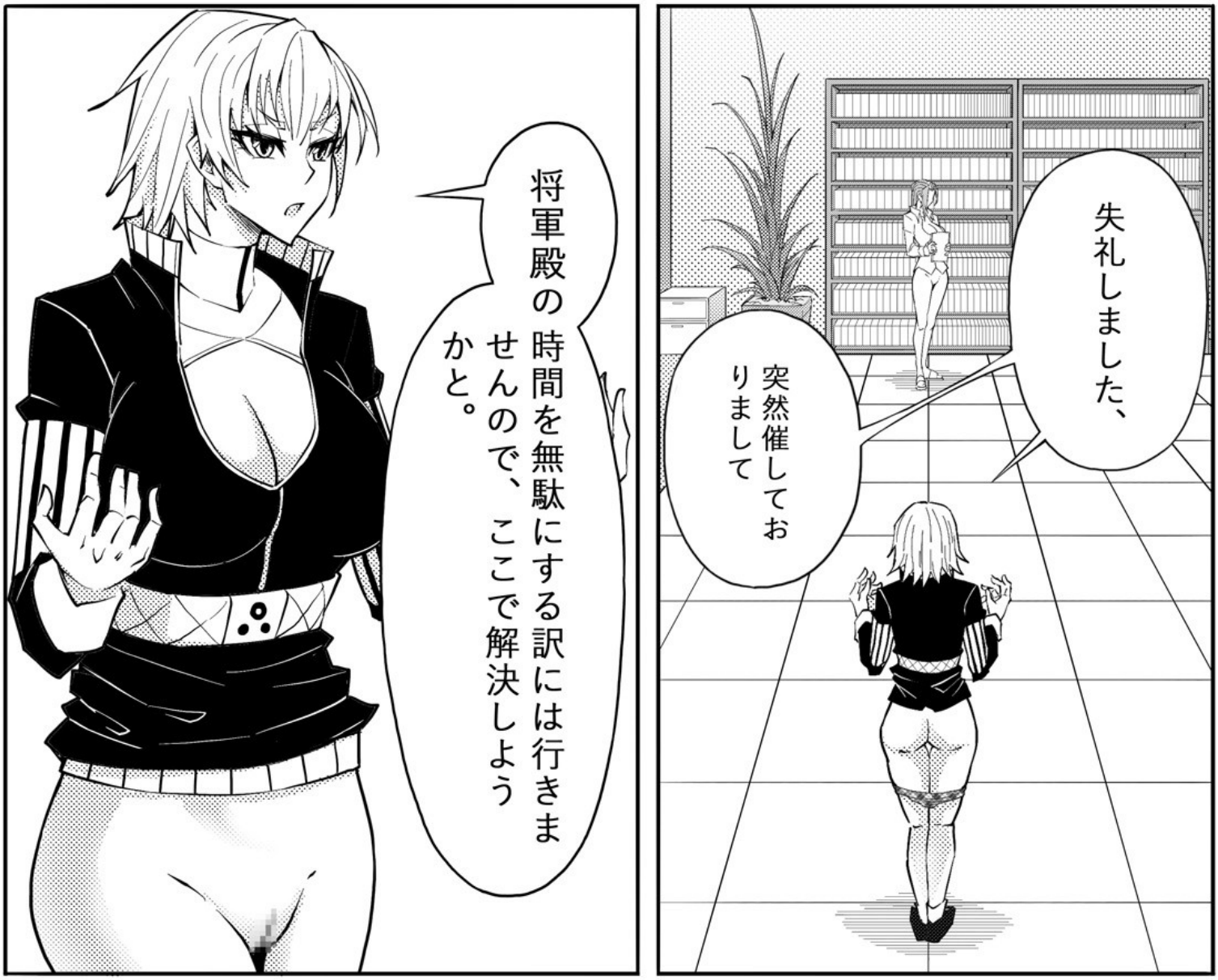


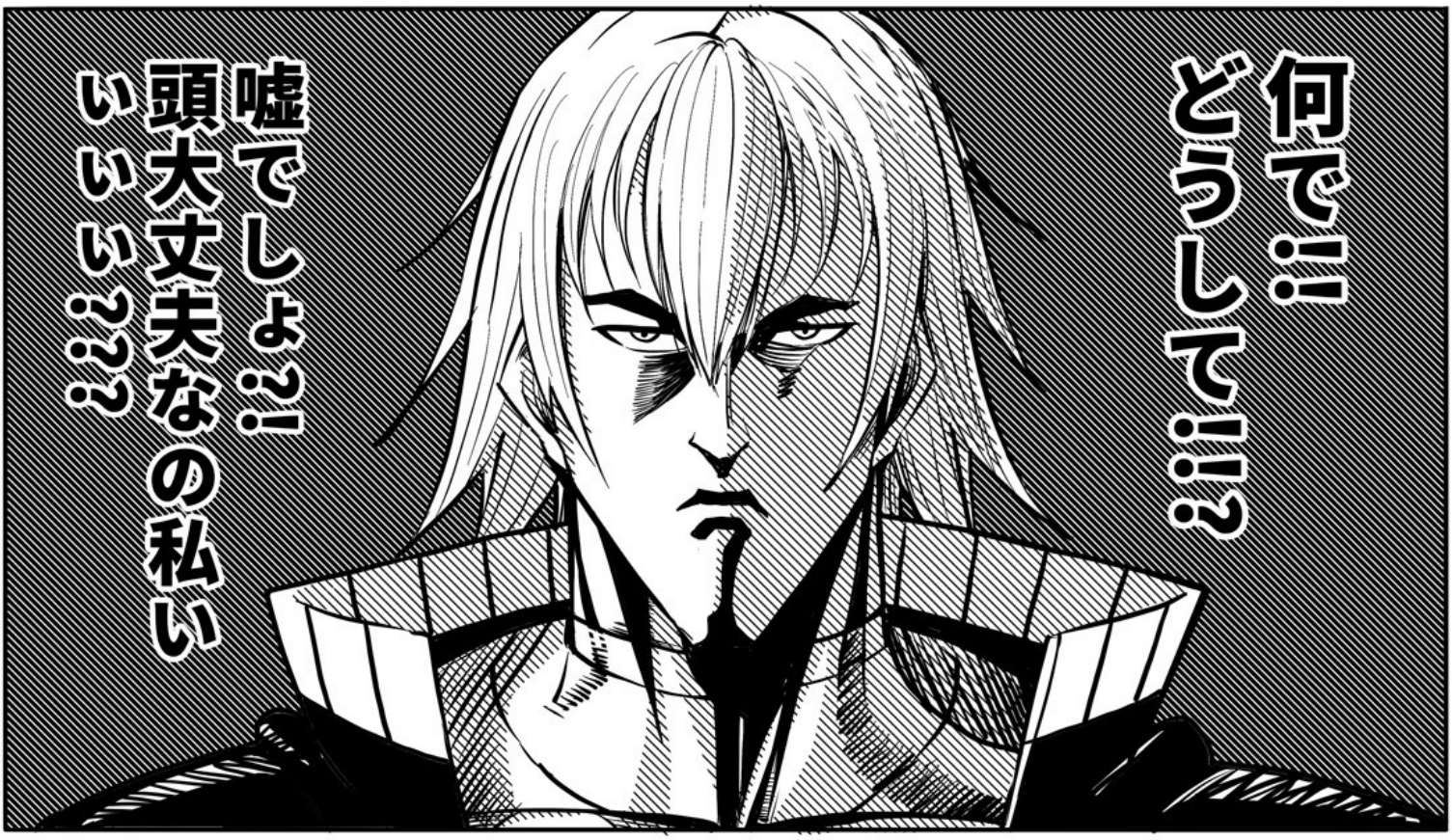

あったぞ、
参謀…


……長？

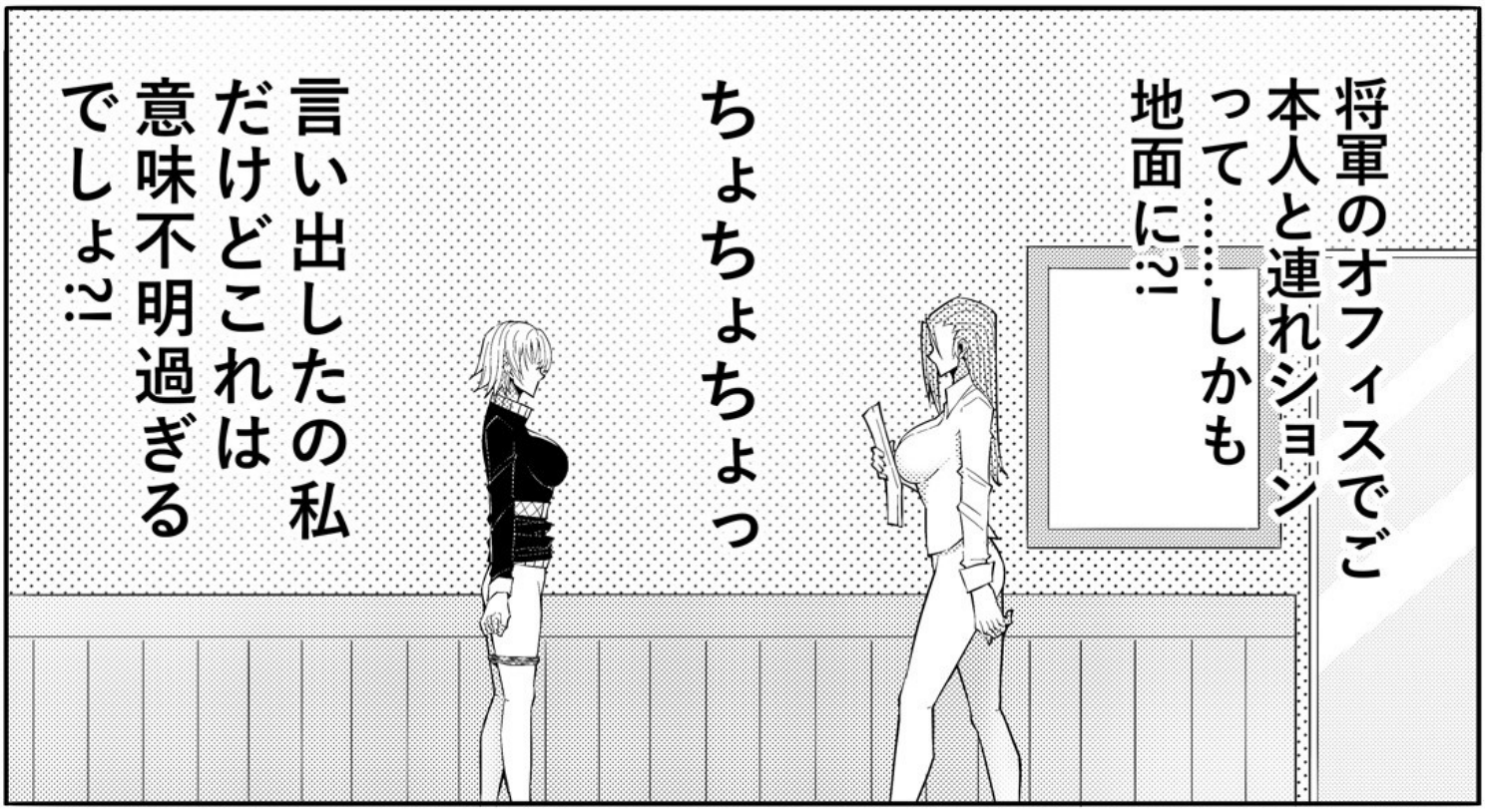

はえ…？

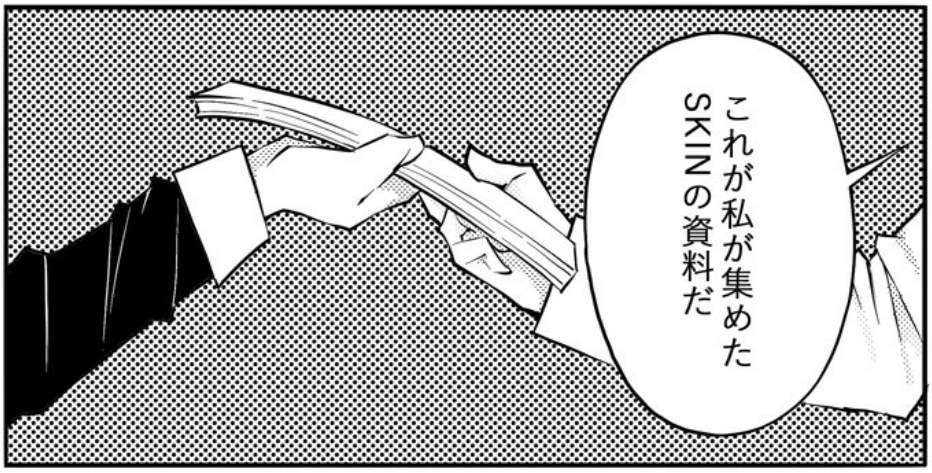

ななな、何やってんだ私いいいい


失礼しました、
突然催しておりまして
将軍殿の時間を無駄にする訳には行きませんので、ここで解決しようかと。


何で!?
どうして!?
嘘でしょ!?
頭大丈夫なの私い
いいい!?

はは、
流石参謀長だな、仕事に対する真面目さには尊敬するよ
私も少し、その真面目さを見習わねばな。
許可しよう、丁度私も気になっている処だ。
一緒にさせてもらうが構わないか？
えっ？えええええ?!?!
どゆこと?!
しょ、将軍殿……
それ本気何ですか?!?


将軍のオフィスでご本人と連れションって……しかも地面に?!
ちょちょちょちょっ
言い出したの私だけどこれは意味不明過ぎるでしょ?!


これが私が集めたSKINの資料だ


では早速始めよう、参謀長
金狐与SKIN成员资料汇编
（ゴールデンフォックス及び傭兵部隊SKINメンバーに関する調査書）


へ？いやこれって…
もう断れない雰囲気じゃ……
あああもうどうにでもなれええ！

まず目次を見てくれ、軽く説明をしよう。

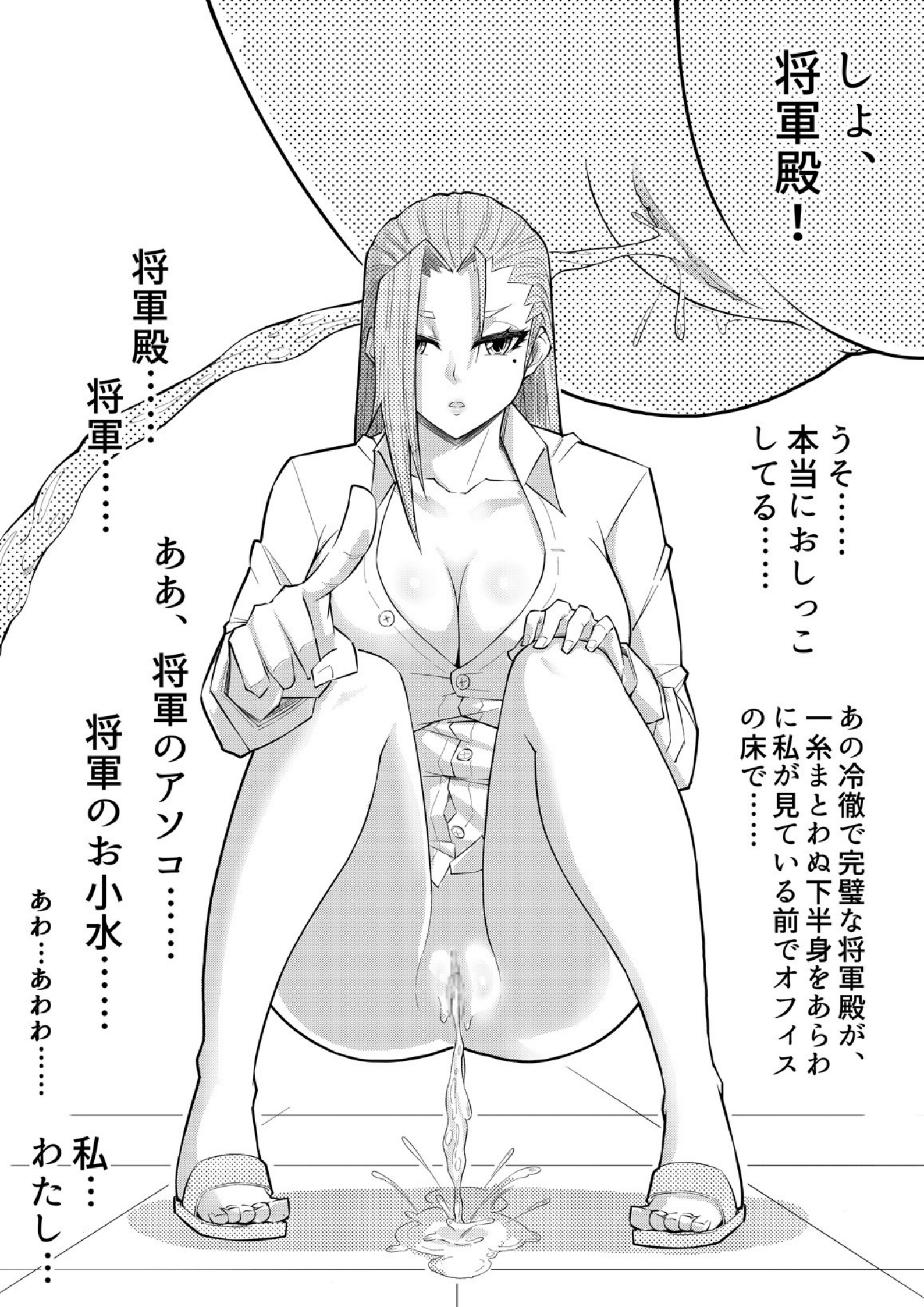
あ…あっはい！

将軍殿、何事もないように解説してますね……

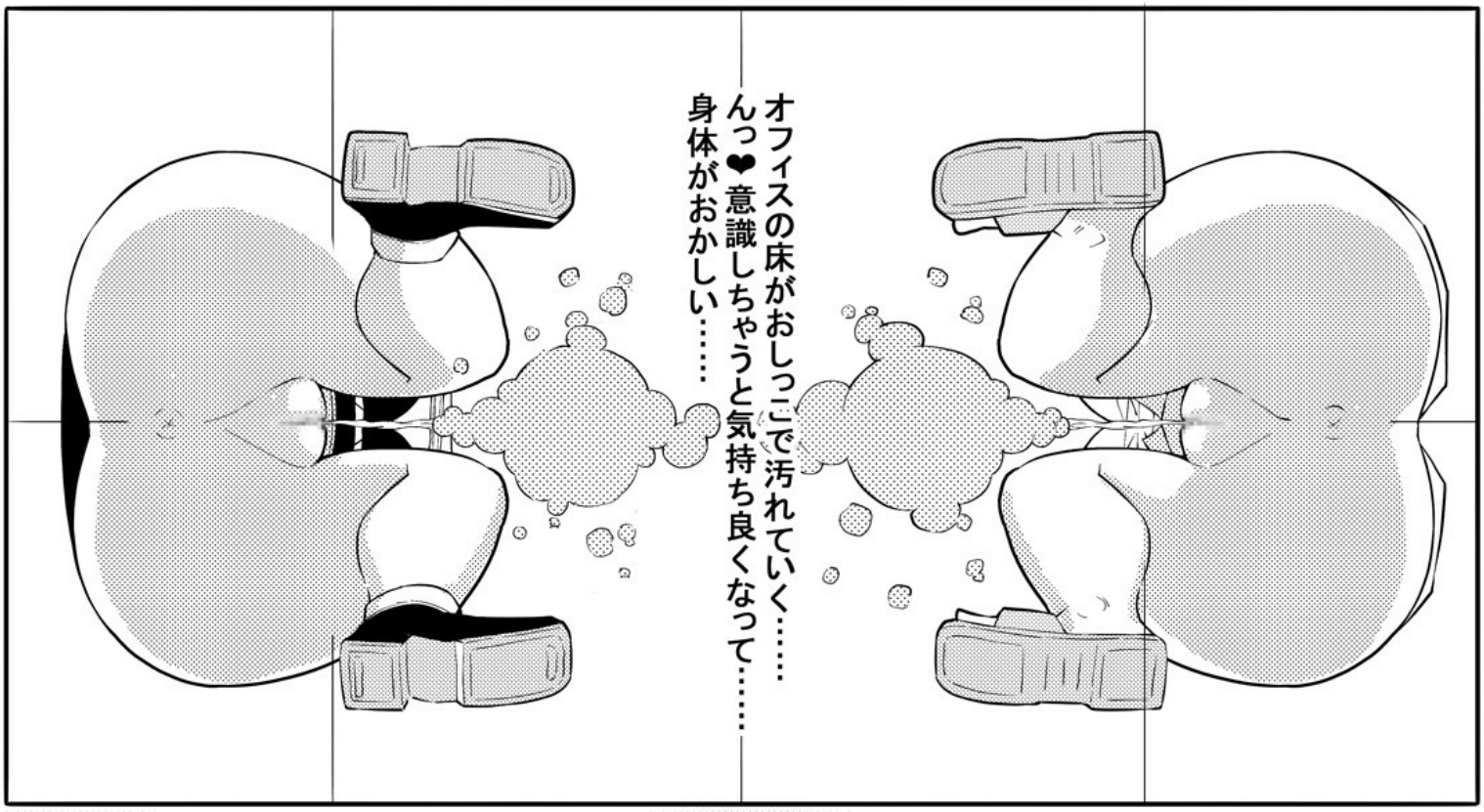
この状況で恥ずかしくないんですか……？

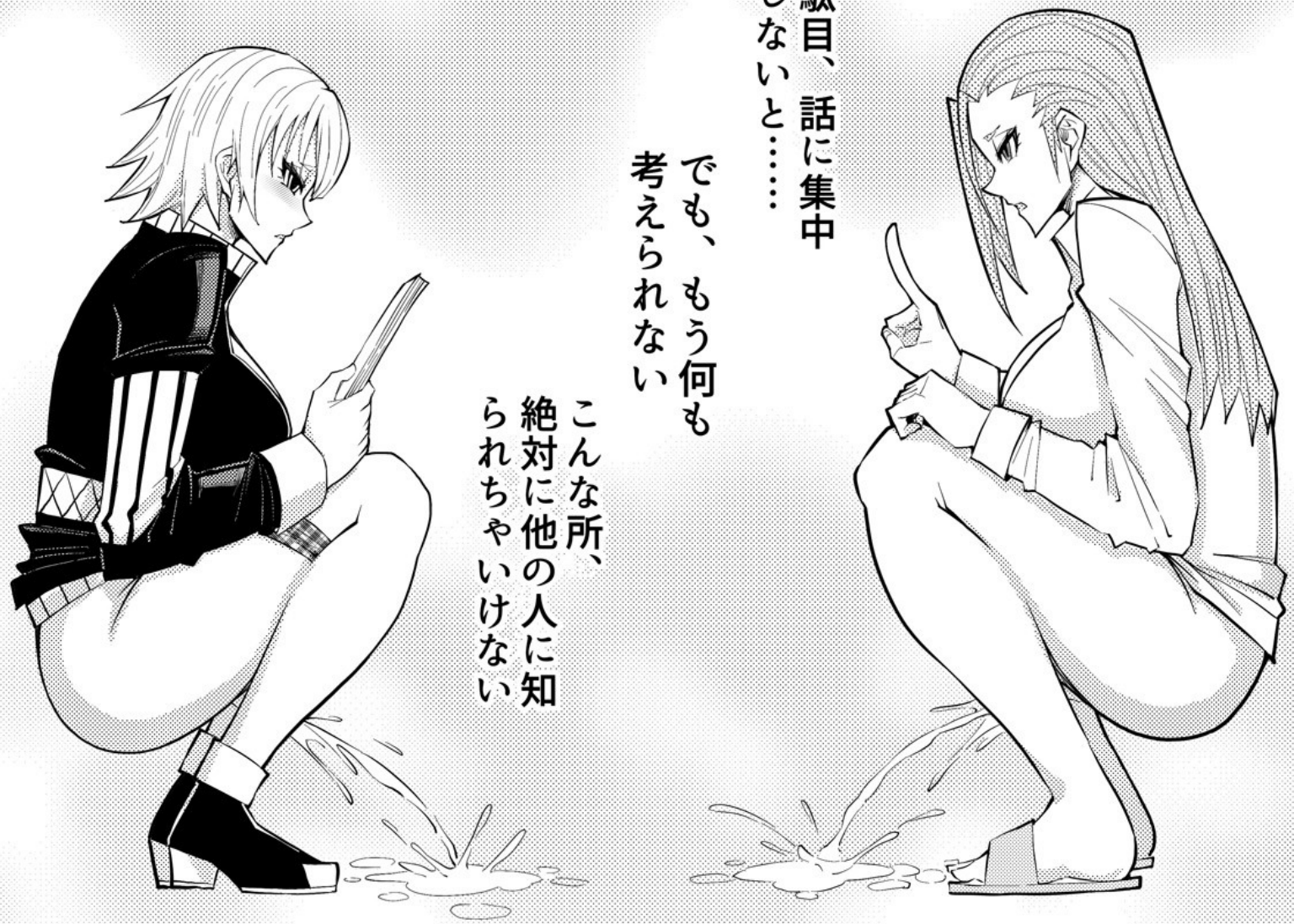
こんな…お互いのアソコに面を向かって……

本当にするんですか？いくら何でもおかしいんじゃ…！


しょ、将軍殿！
うそ……本当におしっこしてる……
あの冷徹で完璧な将軍殿が、一糸まとわぬ下半身をあらわに私が見ている前でオフィスの床で……
将軍殿……将軍……
ああ、将軍のアソコ……
将軍のお小水……
あわ…あわわ……
私…わたし…


わたしもっ！
んひいいいいー
出ちゃう……！
おかしい……
おかしいのに……
こんな堂々と、将軍の見ている前でオフィスの床でおしっこするなんて……
ああ……でも……
この快感はなに？
うっ……
死ぬほど恥ずかしいのに……
何故か気持ちいい……


オフィスの床がおしっこで汚れていく……
んっ❤意識しちゃうと気持ち良くなって……
身体がおかしい……


駄目、話に集中しないと……
でも、もう何も考えられない
こんな所、絶対に他の人に知られちゃいけない

「不恥尿議」

しかし時が過ぎ、アロサウジア王国元将軍の自伝において、この出来事が書かれていたのだ。

後世の人は尊敬な意を込め、

と呼んだ。

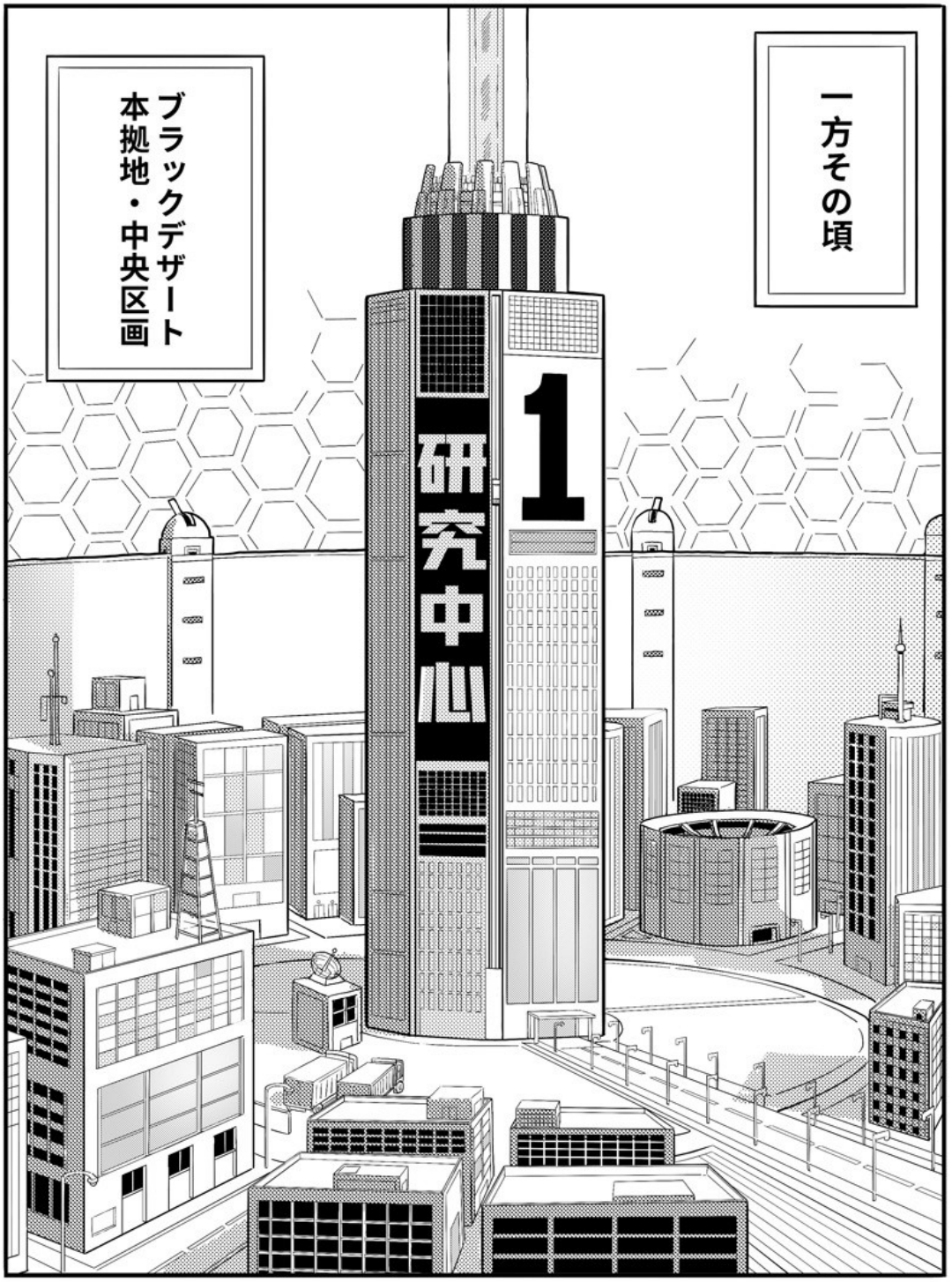
これは、アロサウジア王国の将軍と参謀長が国を憂い、生理現象に割く時間を惜しむまで公務に励む様子を用いて、責任感に溢れ、なすべき事に打ち込む人を引喩する言葉である。



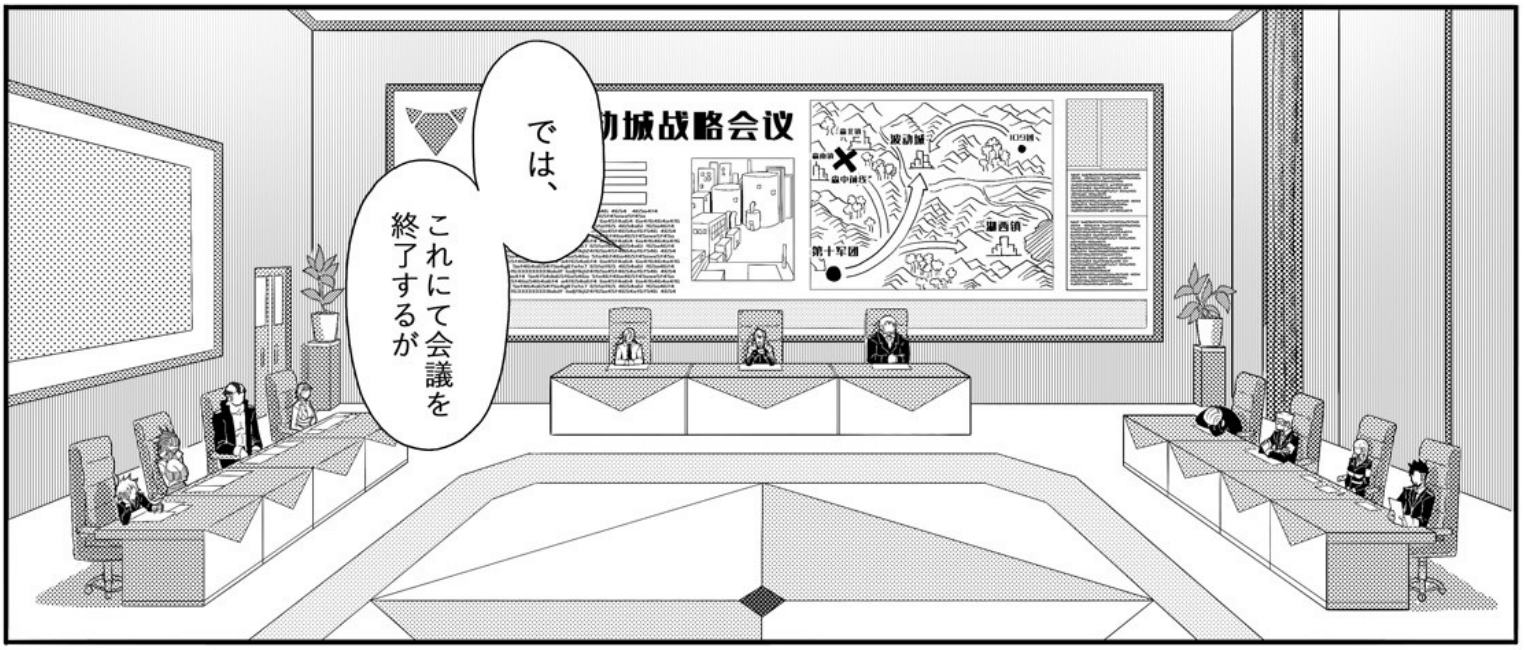


一方その頃

ブラックデザート
本拠地・中央区画







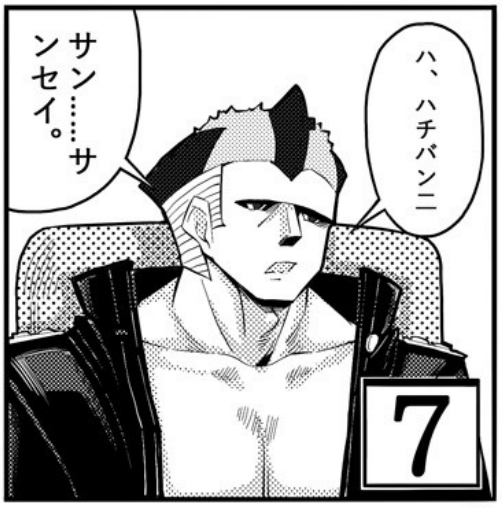

中央区画
総帥
諸君、異議は無いかね？もし無ければこれにて。


第十軍団
軍団長
ではもう一度確認をさせて頂きます。我が第十軍団はこれより遠征任務に当たるが、基地を守備するの方は任せても大丈夫か？


第八軍団
軍団長
安心すると良い。第八軍団の機動部隊が基地の安全を保障する。
それとも、私達は貴方が居ない何も出来ないとても？

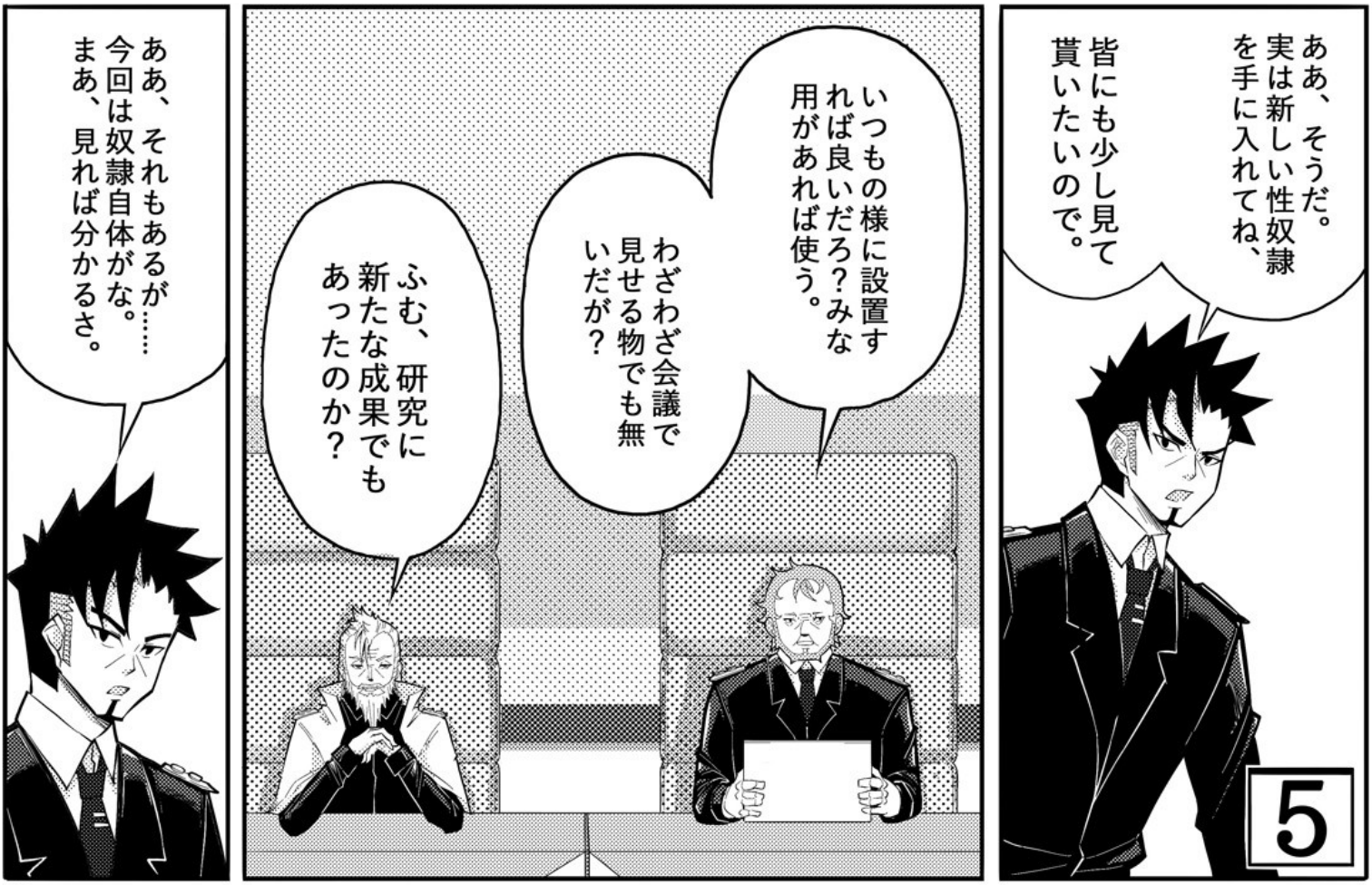

4
そうだそうだ、
言葉には慎んでもらおう。


9
そうだ、自惚れるなよ、第十軍団の。

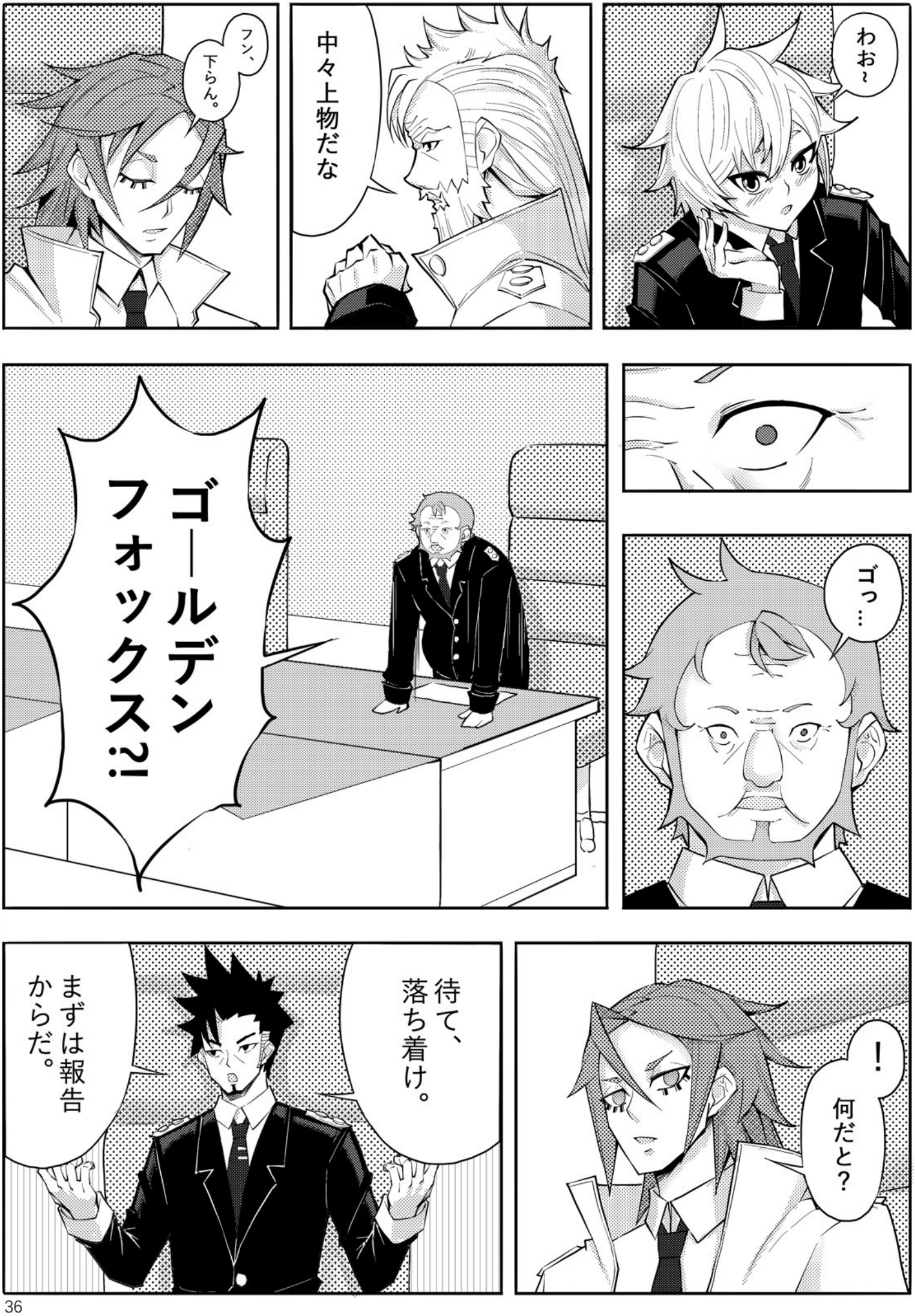

7
ハ、ハチバンニ
サン……サンセイ。

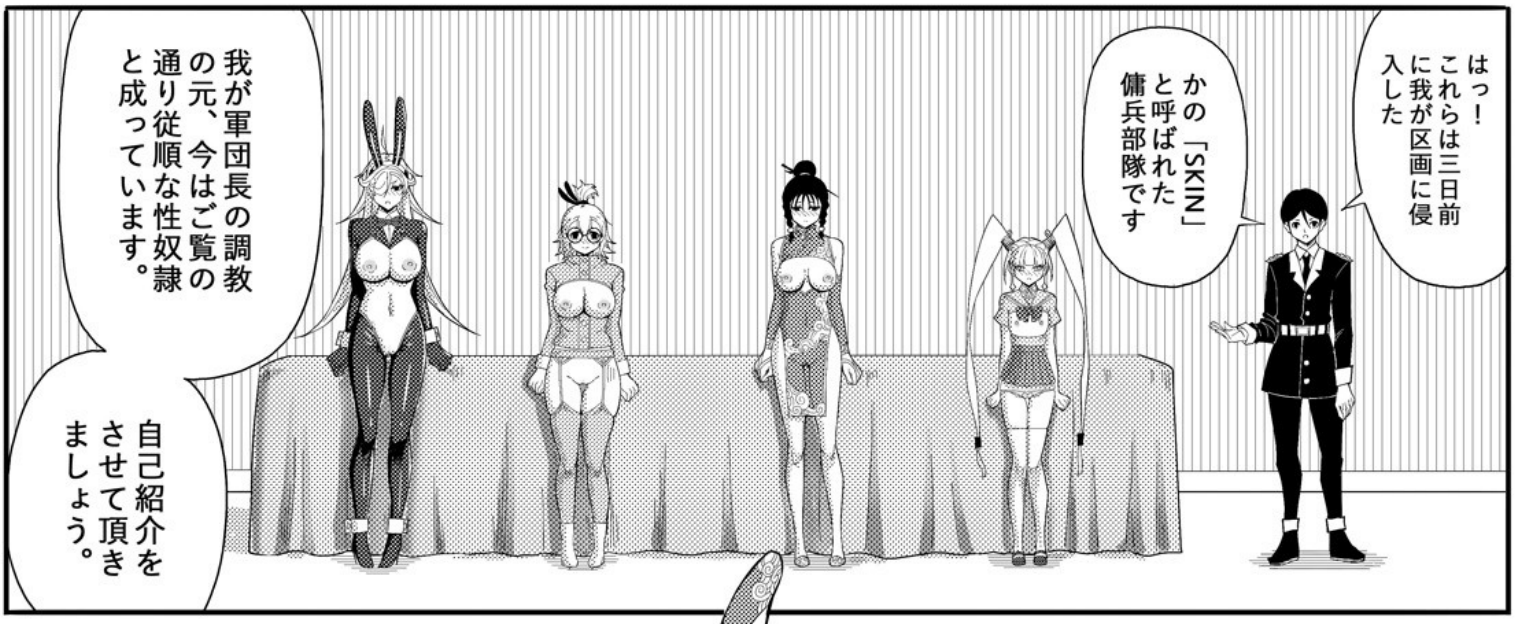

6
ケ・ン・カ
ケ・ン・カ
2
もう、ハニィのバッテリー切れちゃった。
いい加減帰っても良いかしら？
3
フヒッ、あーごめん
今何の話ー？

もう争いはやめるんだ！
既に決まった事だし何度も確認する必要は無い。
それと、第五軍団長が会議後に見せたい物は何だ？
第十一軍団
副総帥

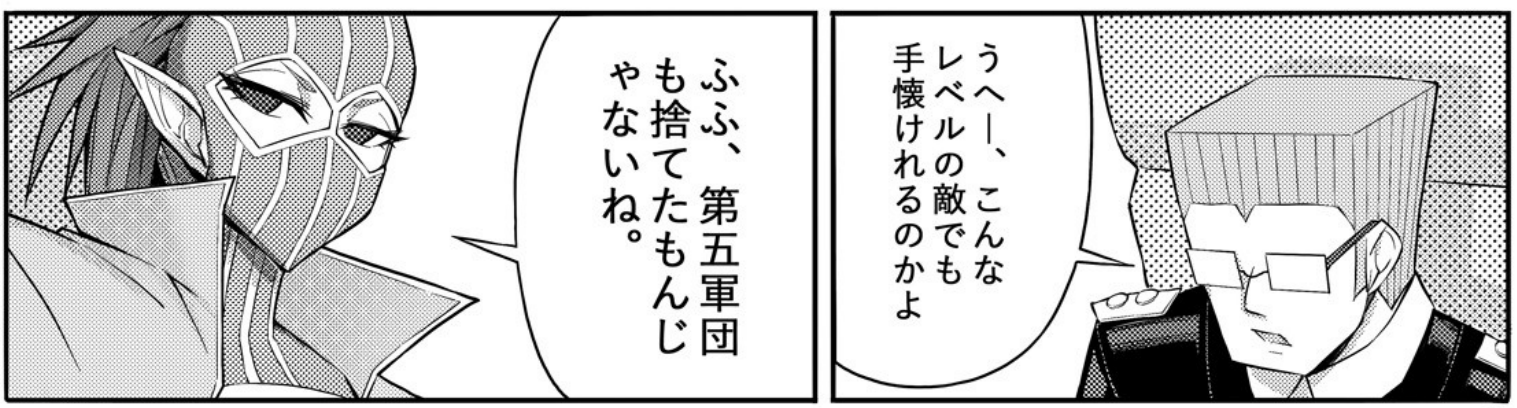

5
ああ、そうだ。実は新しい性奴隷を手に入れてね、皆にも少し見て貰いたいので。
いつもの様に設置すれば良いだろ？みな用があれば使う。
わざわざ会議で見せる物でも無いだが？
ふむ、研究に新たな成果でもあったのか？
ああ、それもあるが……今回は奴隷自体がな。まあ、見れば分かるさ。


城战略会议


わお～
中々上物だな
フン、下らん。
ゴっ…
ゴールデンフォックス?!
！
何だと？
待て、落ち着け。
まずは報告からだ。


はっ！
これらは三日前に我が区画に侵入した
かの「SKIN」と呼ばれた傭兵部隊です
我が軍団長の調教の元、今はご覧の通り従順な性奴隷と成っています。
自己紹介をさせて頂きましょう。

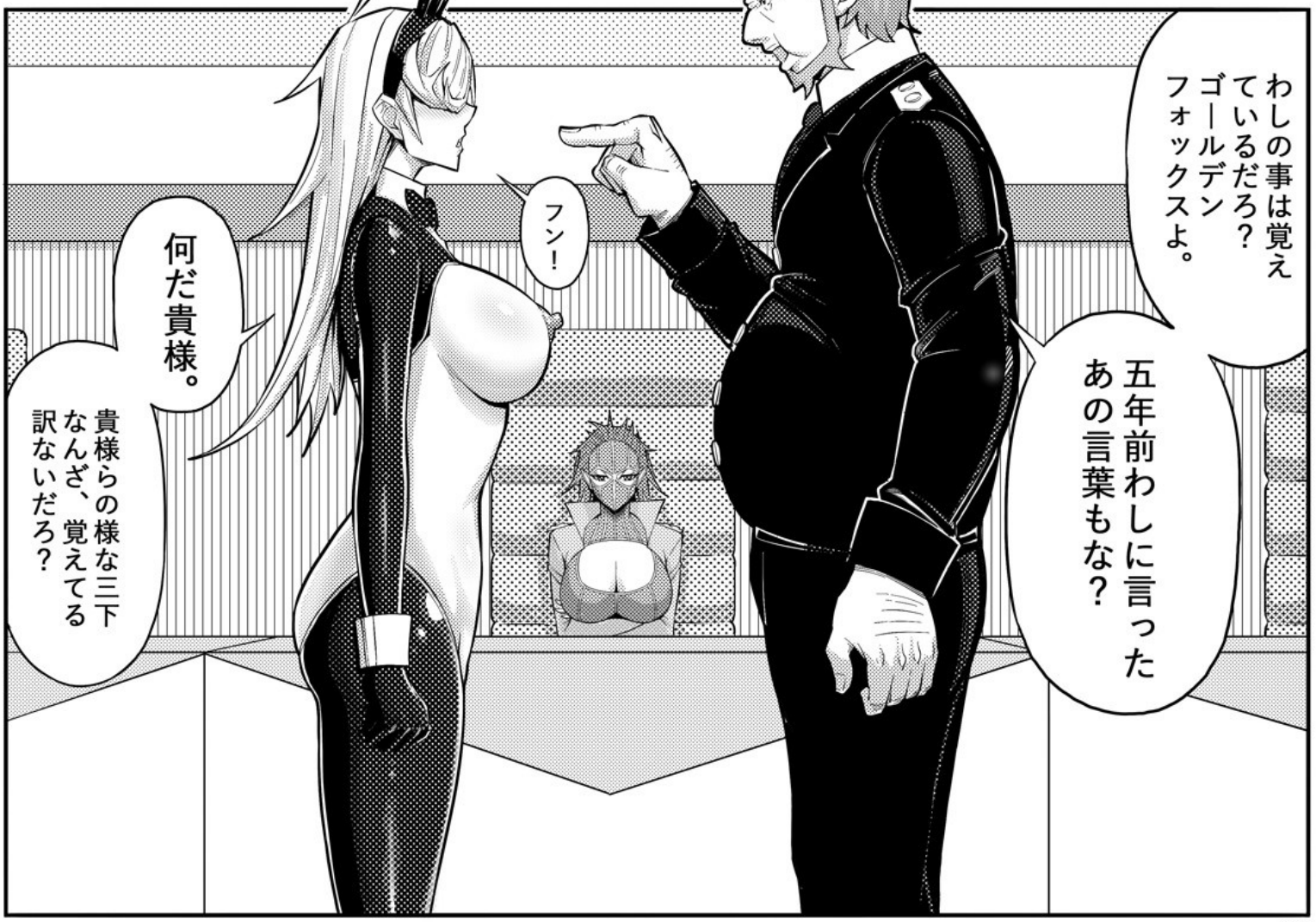

ご主人様達ごきげんよう、新人奴隷のクリスターです。
超能力者ですので……
どんなハードなプレイでも受け止める華奢で丈夫な体が売りでございます。
ご主人……
新人奴隷、ニン。
武芸による……しなやかな肢体が……売りです。
ご主人様ぁ～初めまして～
新人奴隷の、アイビーでーす！
むちむちふわふわなお肉で、気持ち良～くさせて頂きます❤


うへー、こんなレベルの敵でも手懐けれるのかよ
ふふ、第五軍団も捨てたもんじゃないね。


クソゴミ共が……
こんな事してタダで済むと思うなよ。
こ……
どういう事だこれは！
第五軍団長よ、未合格な奴隷は敵同然、本当なら重大な規則違反だが？
ご安心ください。彼女の調教ステータスはすべて合格です。
ただ言語域だけは少々残留意志があるので害はありません
この装置で強制力を高めれば、
大人しく自己紹介するでしょう。
構わんぞ！このままで良い！
グハハハハ―
おい、ゴ―ルデンフォックスよ！こっちこい。


五年間だ！


この五年間
わしはずっと
貴様に復讐し
てやろうと思
ってたぞ！
まさかこんな
容易く部下に
敗れたとはな！
舐めた態度
が仇になっ
たな、ああ？


わしの事は覚え
ているだろ？
ゴールデン
フォックスよ。
五年前わしに言った
あの言葉もな？
フン！
何だ貴様。
貴様らの様な三下
なんざ、覚えてる
訳ないだろ？

けっ、流石だな。こんなざまになってもその態度とは

しかし、くくく…

性奴隷シックス、命令だ

乳首を両手で弄りまわし、五年前にわたしに言った事をもう一遍言ってみろ！

き、貴様ふざけてんのか？

さっきも言ったはずだ、覚えてないってな。

貴様なぞ言葉ところか、存在自体覚える価値もないクズだからな。

フハハハ！良いぞ！良い様だ！

股をおっ広げて乳首弄りながら偉そうに言っても無様でしかないわ！

……

素晴らしい、素晴らしいぞ！


よくやったぞ、第五軍団長。
フン、これで俺様の実力を思い知ったか。


気でも狂ったのか！！




まさか敵のエージェントをこの中央区に置くとでも言うのか！
ここ中央区画は組織の中枢部だぞ
ここで破壊工作でもされたら重大な損害を受ける筈だ！
下手したら組織が崩壊し兼ねない！

おいおい、そう興奮すんなよ。

オレのやり方が気に食わないのは知ってるが、

今更性奴隷制度に反対して来ても困るな。

以前ならな。貴様の部下やそこら辺の売女、捕獲した女賊など、気に食わんが害にはならない。

しかし、やつらは政府軍が雇った傭兵部隊だぞ！

やつらの目標もこの中央区画にあるに違いない。

第十軍団長よ、その言い分は理解している。

だが第五軍団長の研究や、その報告書と成果はみな見て来た

調教ステータスが合格であれば逆らう事はまず無い。君の心配する事は起こるまい

こんな研究など何になると言うのだ？

その調教システムとやらが解析され、ステータスを偽装されたとしたら？

そう憶測で難癖をつけては行かんな。

第十軍団長は研究資料を見た事すら無いはずだが？

報告書では、調教改造された個体は強力な洗脳により、「主人」と登録した者には絶対服従と証明されているんだよ。

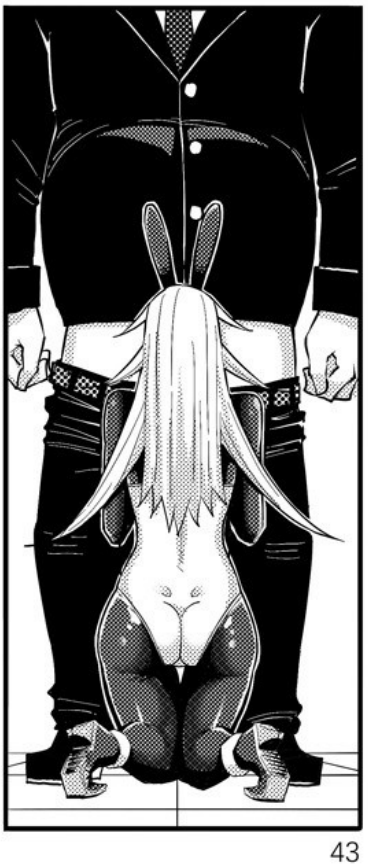
この様にな……


ゴールデンフォックスよ
仕事だぞ


！
その口で奉仕して貰おうか。やり方は、性奴隷なら分るよな？



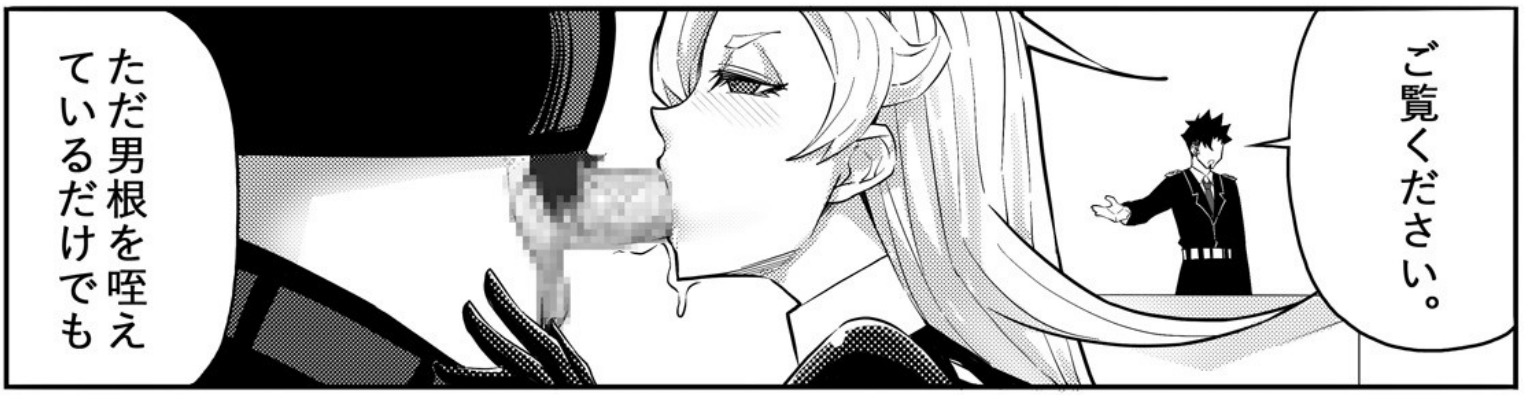

貴様…
おおえへおおぉ…（覚えてろよ）




ぐっ




おほ――――こりゃ良いぞ！
あのゴールデンフォックスが、
わしのチンコを舐め回してるぞ！


ご覧ください。
ただ男根を咥えているだけでも

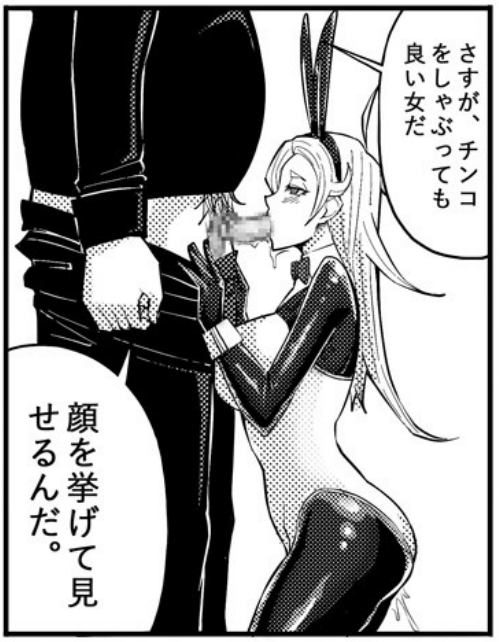



彼女の体が反射的にオーガズムを迎えている。

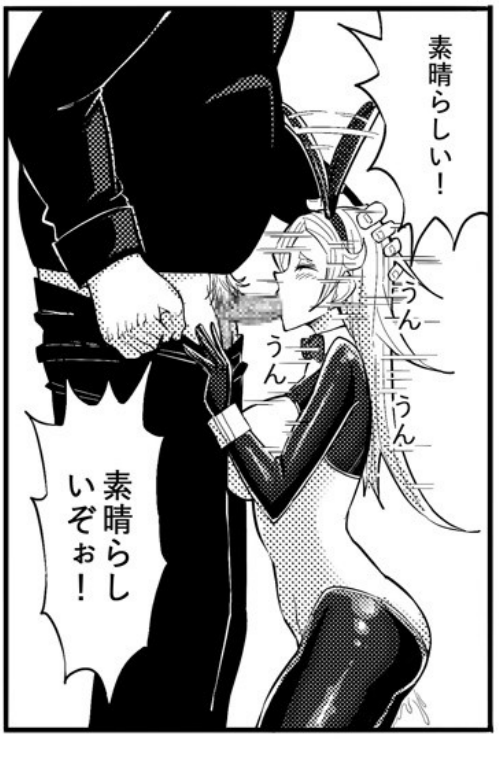



*んおぉ
*ひうぁ！

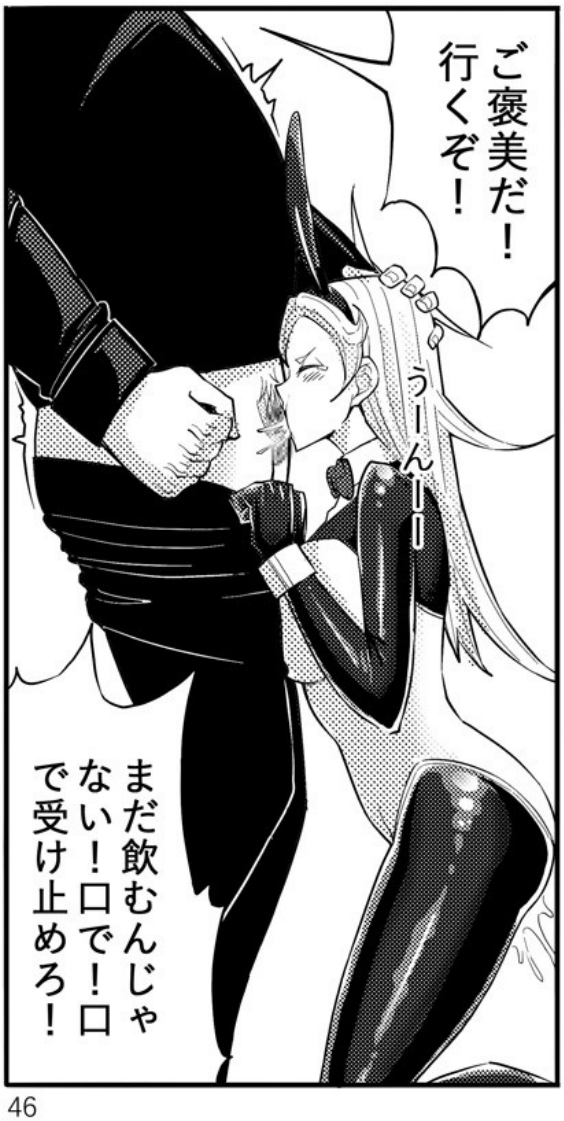
*いや！*見るな！


さすが、チンコをしゃぶっても良い女だ
顔を挙げて見せるんだ。


おお、これは……

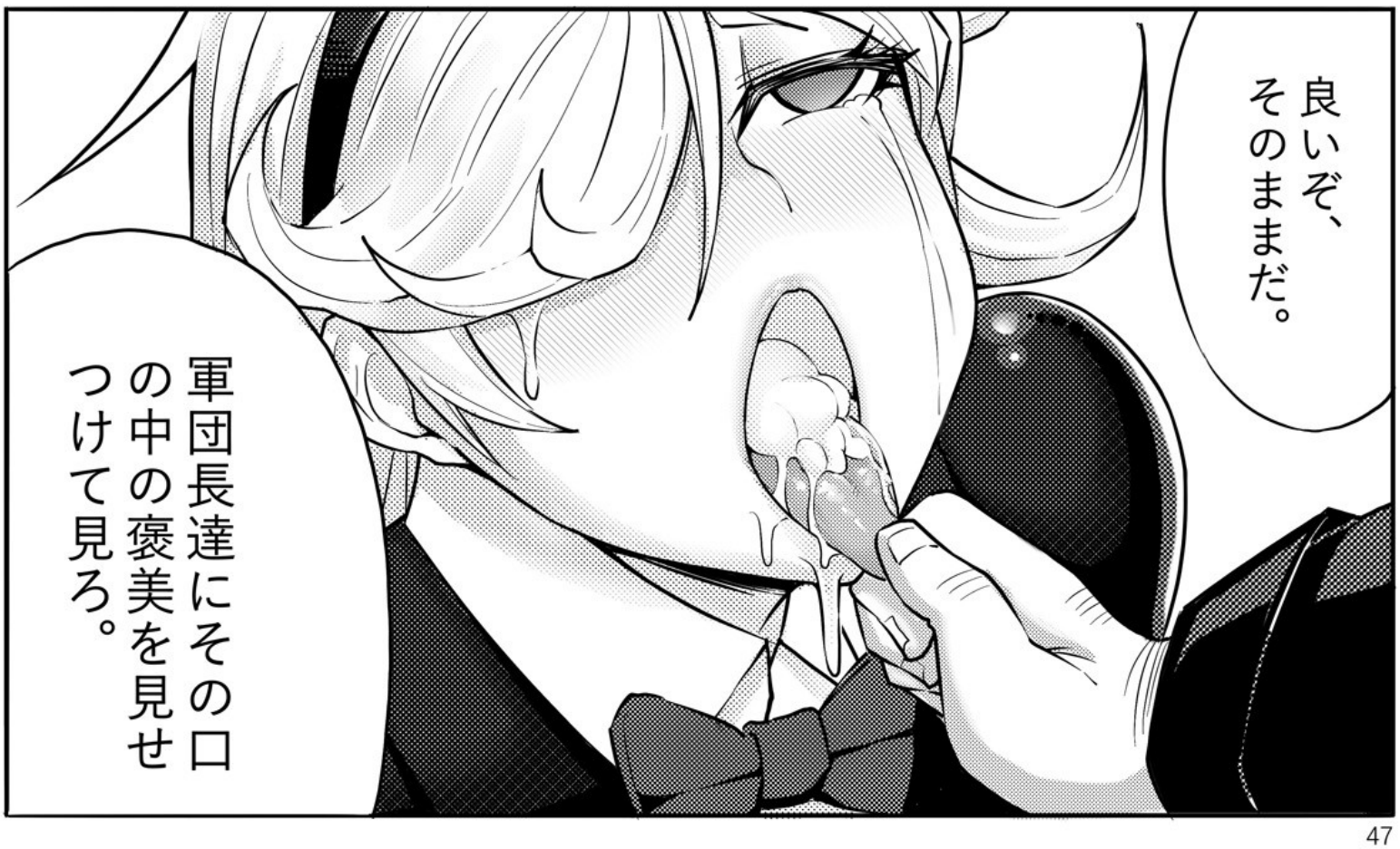

素晴らしい！
うーん
うん
うん
素晴らしいぞぉ！


ゴールデン
フォッ！
クス！
ふん！ふん！おあああ！

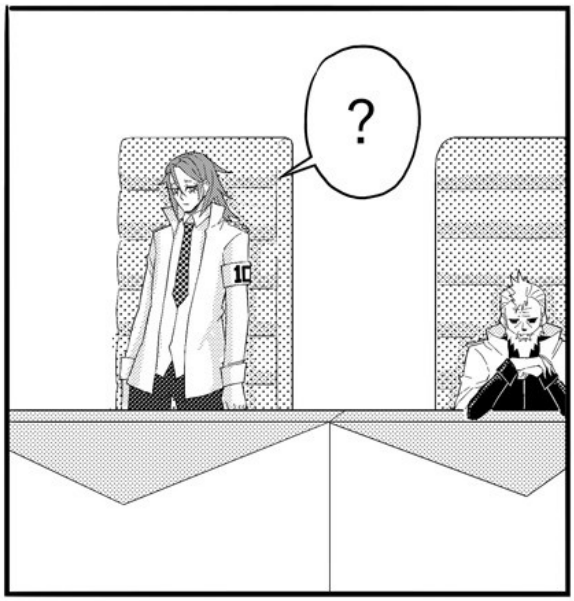

ご褒美だ！
行くぞ！
うーん
まだ飲むんじゃない！口で！口で受け止めろ！

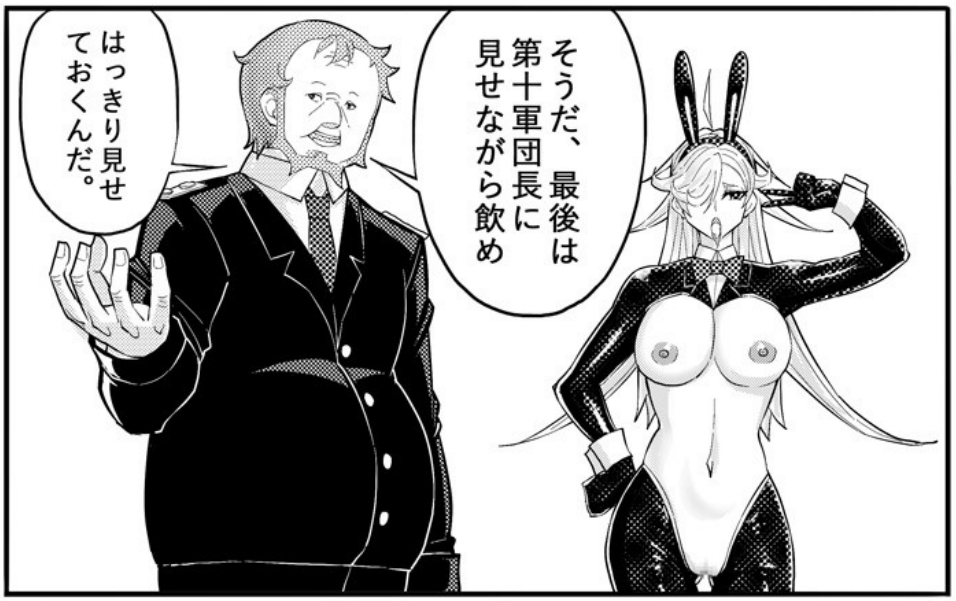

くっ、
……おごっ


プシャー


良いぞ、
そのままだ。
軍団長達にその口
の中の褒美を見せ
つけて見ろ。




？


そうだ、最後は第十軍団長に見せながら飲め
はっきり見せておくんだ。




ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ


どうだ？第十軍団長。
これで証明出来たか？


これが何の証明になるって言うだ？


ほう？見てるだけでは駄目とな？
そうだ、性奴隷よ。
第十軍団長にも楽しませておこう。
！
来るな！
汚らわしい。
良いだろう。
もうここでの用は済んだ。帰らせて貰う。
10

言うべき事は言った、聞く耳持たないなら仕方ない。

明日我が軍団と共に任務に当たる、その間に起こる問題は私の知った事ではない！

けっ、やっと帰りやがったか

邪魔な奴もないし、久々に宴といこう！

どうぞ、遠慮はいりませんよ。



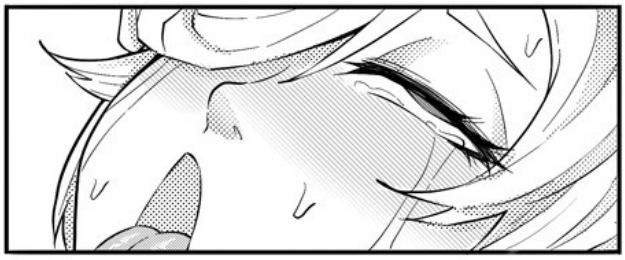







第五軍団長よ、このゴールデンフォックスをわしの専属便器として、数日貸して貰えるかのう？
勿論です。では清掃の後、部下がお届けに参りますので。


つづく



ああ、正確には「男」じゃない、「愚かな男」だな。

――ゴールデンフォックス・シックス